資料編

環境意識

１　市民意識調査の概要

（１）　調査の目的

計画策定に当たり、環境に対する意識や取組状況、将来望んでいる環境状況などにかかる地域住民や市内事業者の環境意識を把握し、将来の環境像や施策立案に活用するため、令和５（２０２３）年度に市民意識調査を実施しました。

（２）　調査の視点

本調査は、以下の基本視点をもって市民、事業者及び中学生の環境意識を把握するため実施しました。

なお、本調査に当たっては、平成２９（２０１７）年度（第２次渋川市環境基本計画策定時）に実施した調査項目を踏まえ、比較分析を想定するとともに、近年の環境問題や社会情勢を踏まえ、新たに視点を設定しました。

ア　本市全体及び住まい周辺の環境に対する満足度の把握
イ　居住地域別の環境に対する満足度の差異の把握
ウ　地域環境の特性の抽出
エ　地球温暖化対策（低炭素社会の構築）に関する意識や取組状況の把握
オ　循環型社会に関する意識や取組状況の把握
カ　環境保全活動や環境学習に関する意識や取組の把握
キ　事業者の環境対策の状況や障害、環境向上の実態と、今後の取組姿勢の把握
ク　本市が実施している環境施策に対する認知度、関心度の把握

（３）　アンケートについて

アンケートでは、幅広い層の意識を把握するため、年齢、地域などを考慮した一般市民対象、事業活動における環境配慮行動などを把握するために事業者対象、さらに次世代を担う子ども達の意識を把握するために中学生対象の意識調査を実施しました。

なお、回答欄の（　　）内は前回平成２９（２０１７）年度の回答率です。

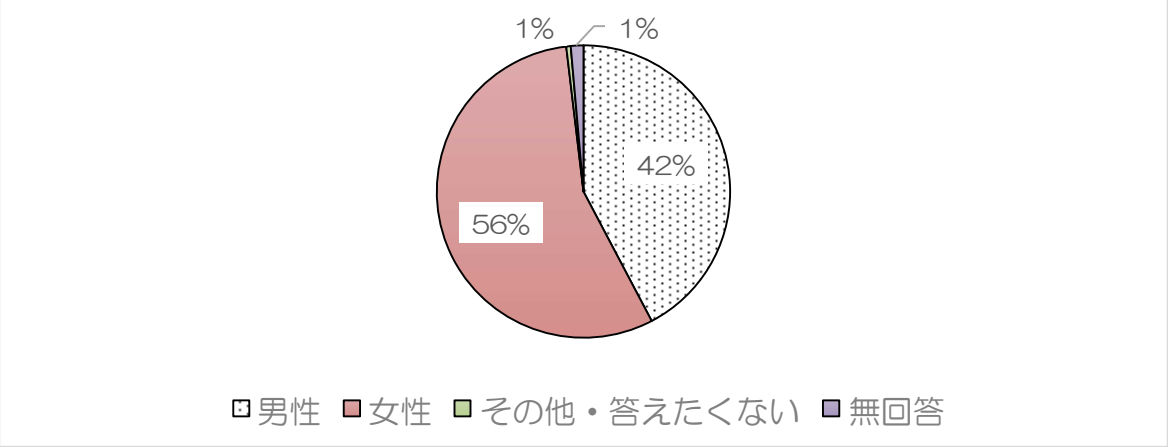
調査	対象	方法	調査期間 （令和5年）	回答
市民意識調査	18歳以上70歳未満の市民から各地区の人口比率および男女比率に応じて抽出した4,300人	郵送により配布・回収	7月11日 ～8月31日	1,434人 33.3% （35.3%）
事業者意識調査	市内の事業所から抽出した200事業者	郵送により配布・回収	7月11日 ～8月31日	83者 41.5% （60.0%）
中学生意識調査	市内の9中学校の第2学年生525人	各学校を通じ配布・回収	7月1日 ～7月20日	469人 89.3% （94.7%）

２　市民意識調査の結果（一般市民対象：有効回答数：１，４３４人）

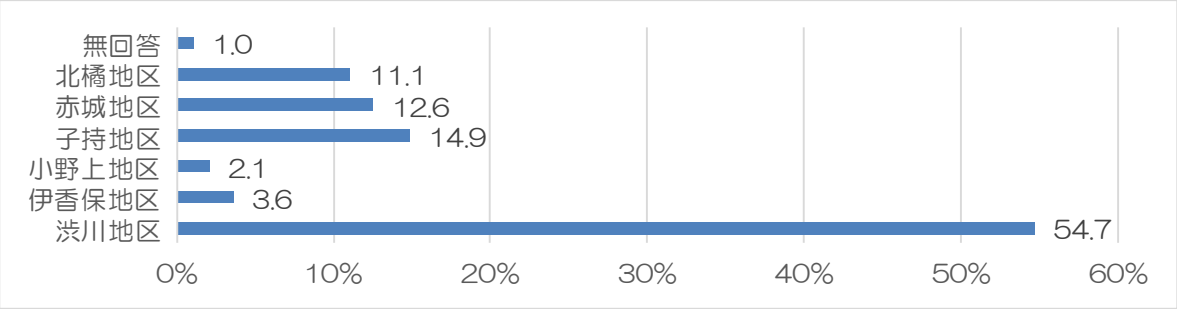
（１）　一般市民対象調査の属性

今回の意識調査における市民の属性は次のとおりとなっております。

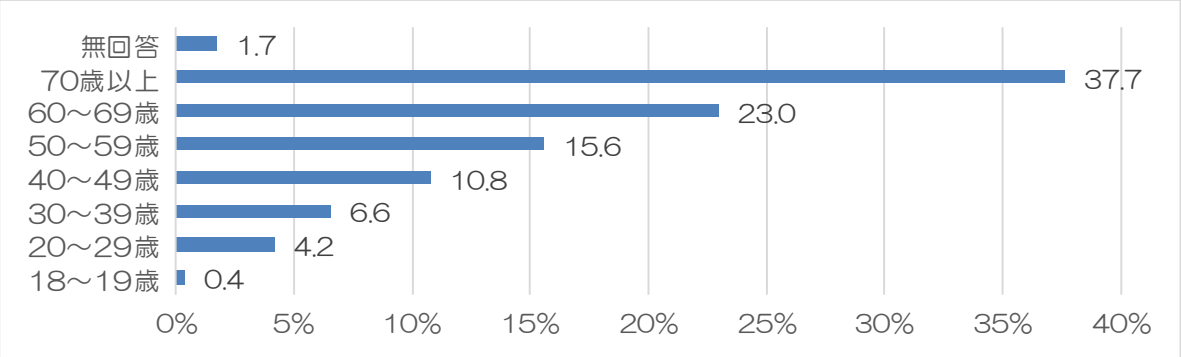
ア　回答者の性別



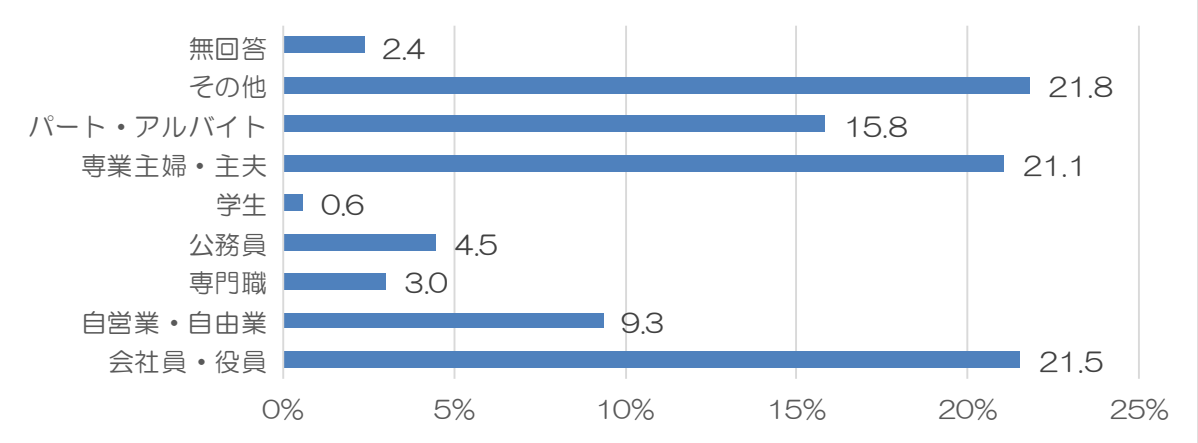
イ　回答者の居住地区



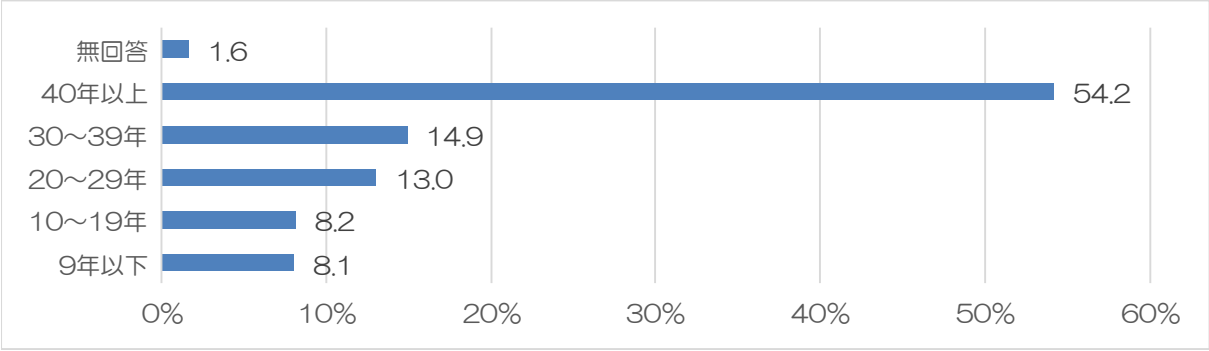
ウ　回答者の年齢



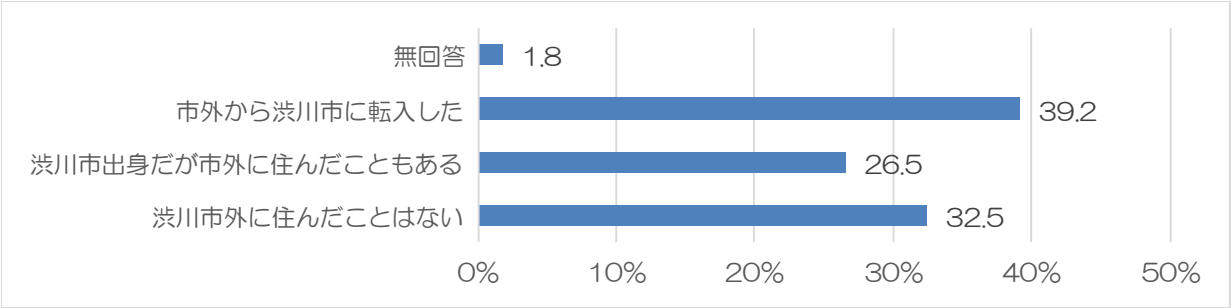
エ　回答者の職業



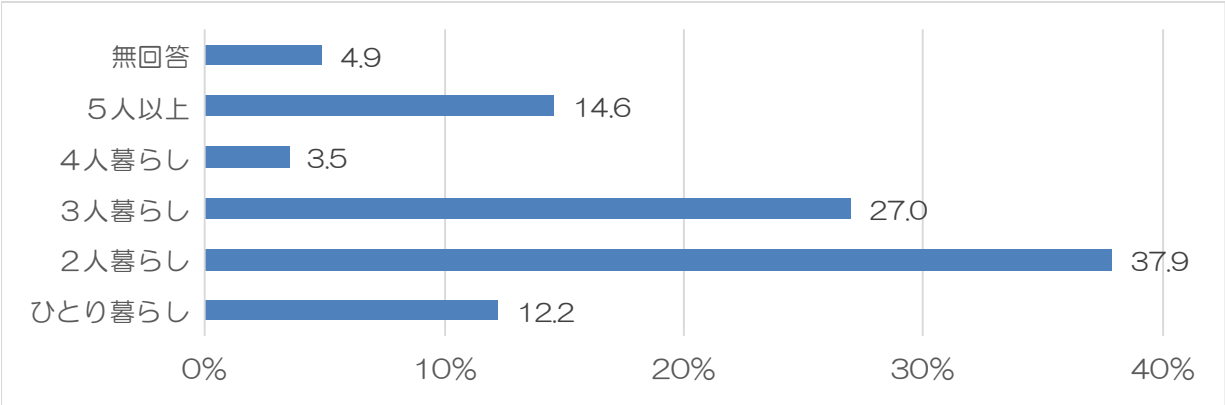
オ　回答者の居住年数



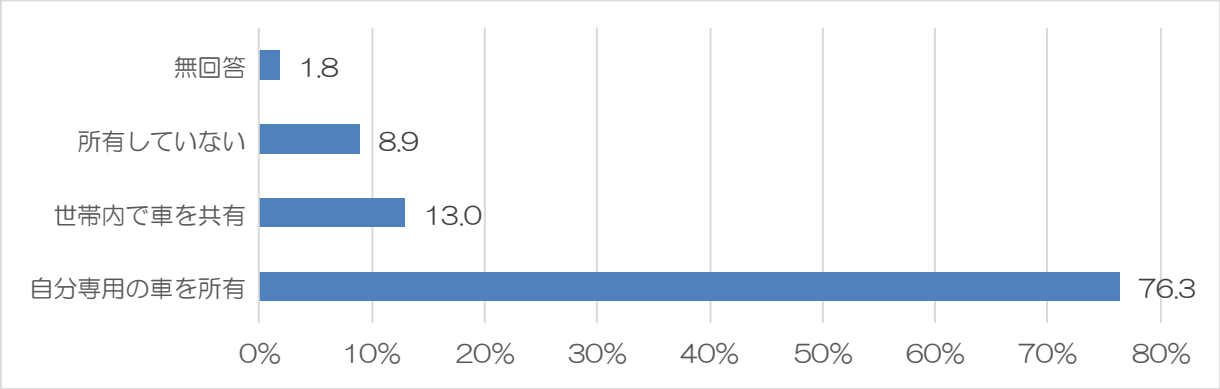
カ　回答者の居住経歴



キ　回答者の家族構成

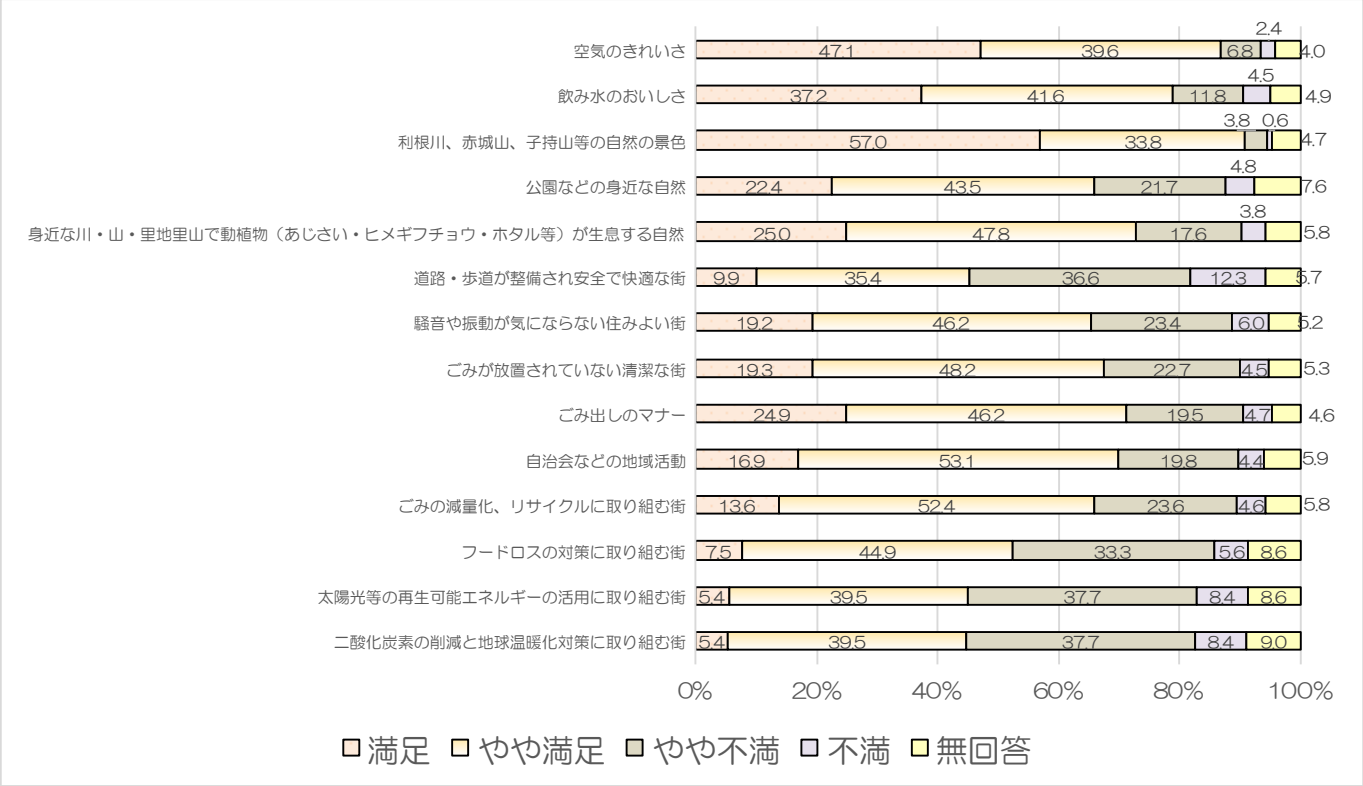


ク　回答者の自動車保有状況

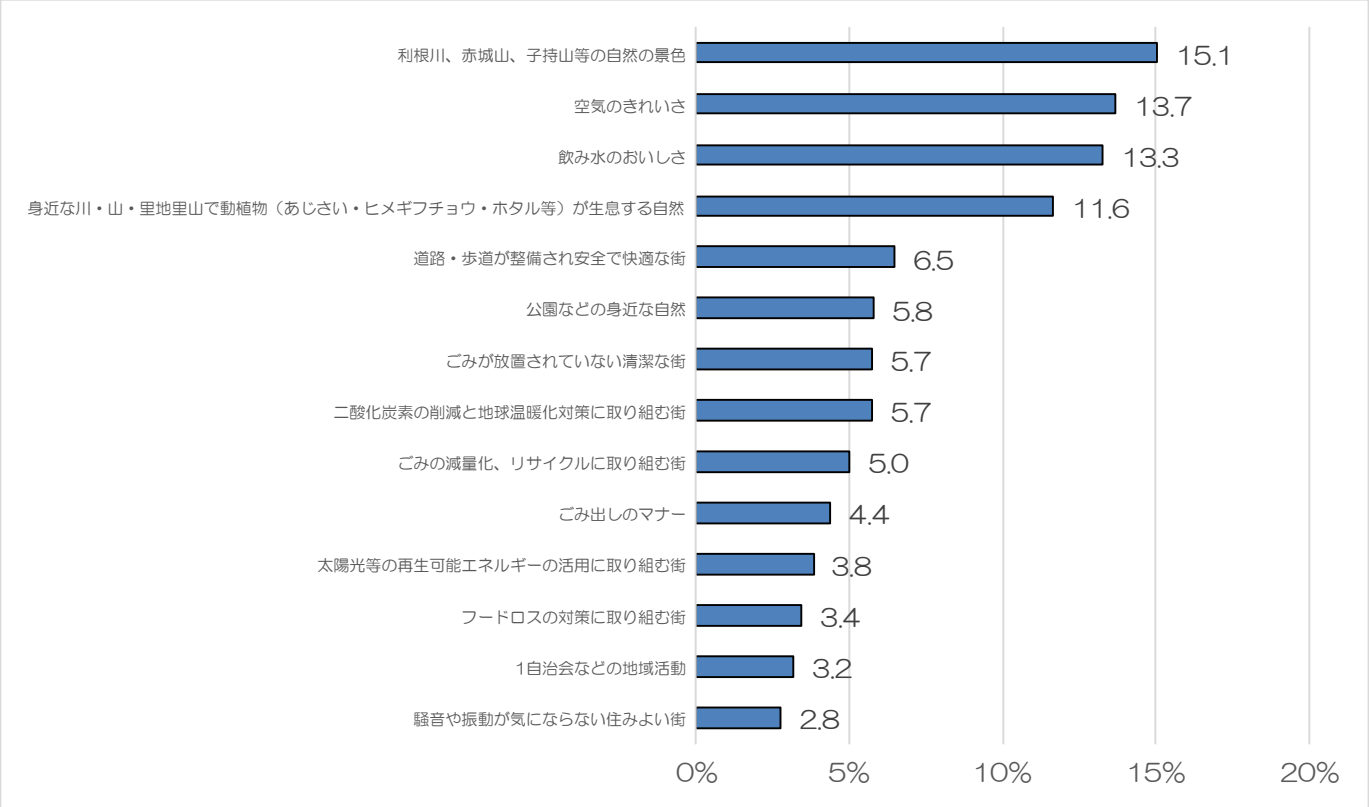


（２）　住まい環境の満足度

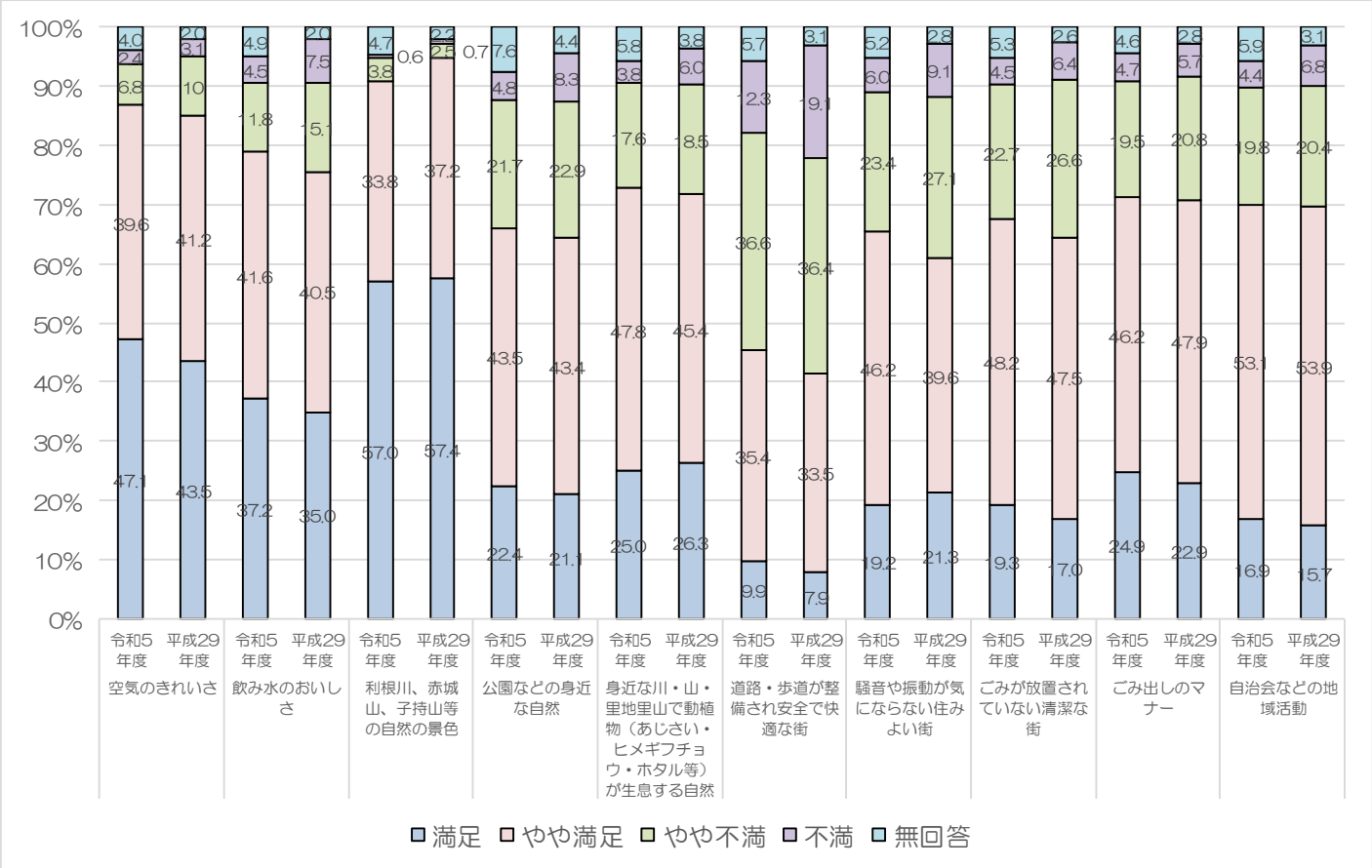
上位から「利根川、赤城山、子持山等の自然の景色」「空気のきれいさ」「飲み水のおいしさ」「身近な川・山・里地里山で生物が生息する自然」となっており、大気、水資源、自然の景色や生態系が本市の特徴であることが現れました。この回答は前回調査時と同じ傾向となっております。



なお、将来に向けて引き継いだ方がよい事項の回答は次の件数です。自然や空気、飲み水について高い回答となっております。

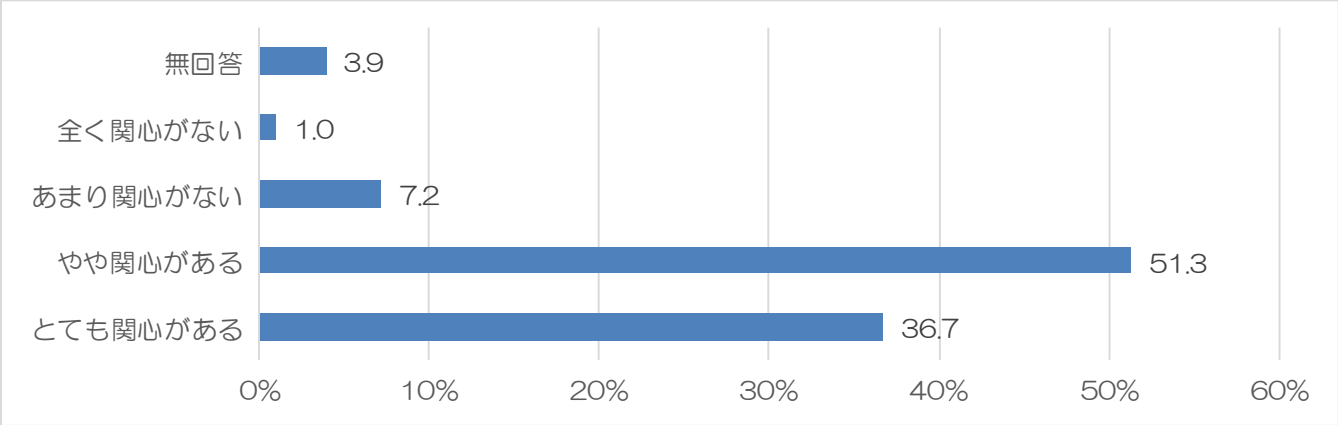


また、前回平成２９（２０１７）年度の調査と比較しても、自然や空気、飲み水に関して満足度が高い回答となっており経年的な変化はあまり見られませんでした。

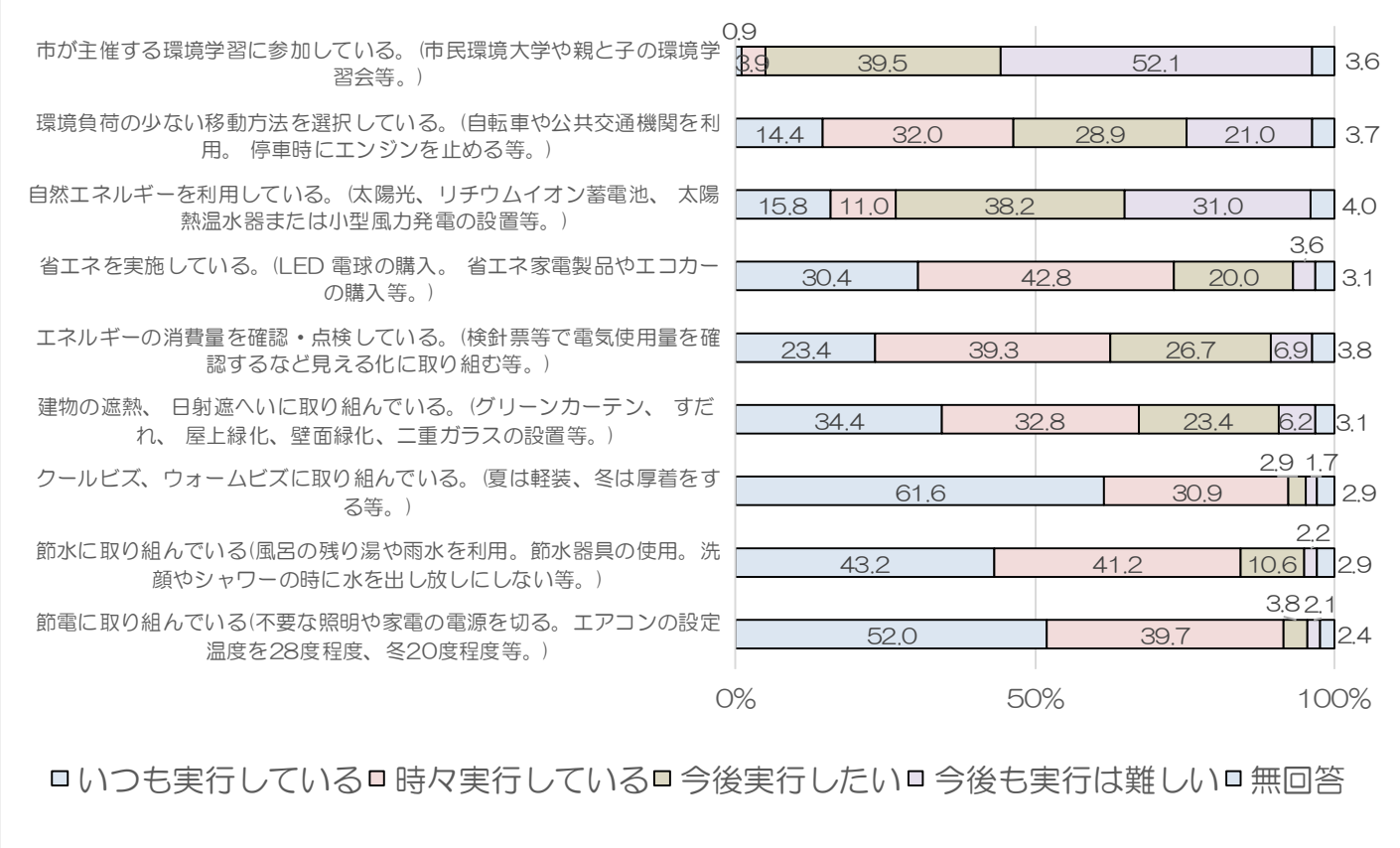


（３）　地球温暖化問題への関心

「とても関心がある」「やや関心がある」を足すと８８％となり、関心の高さが分かります。

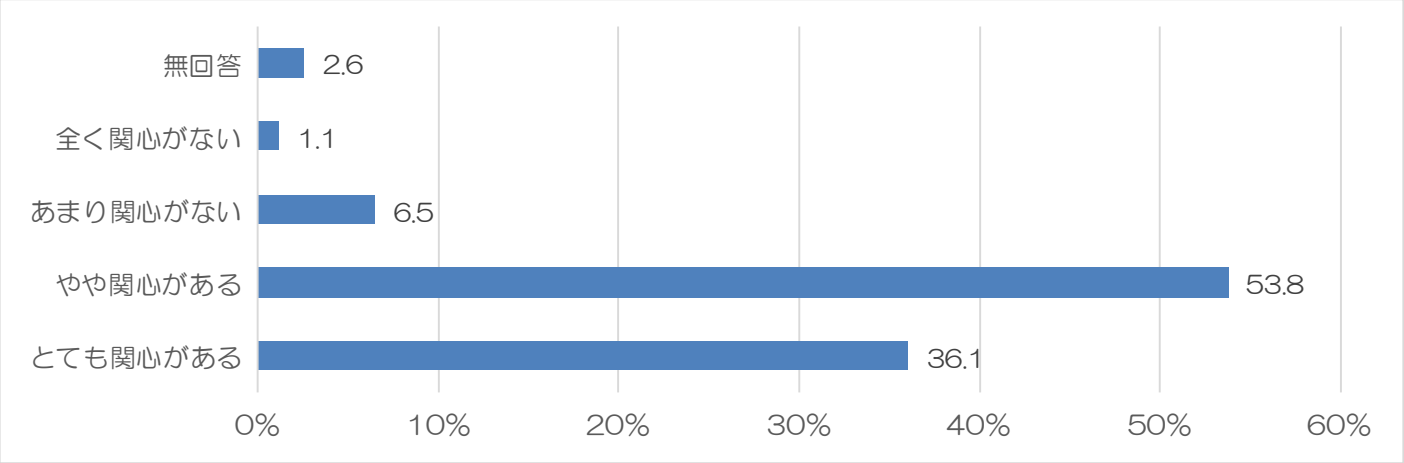


なお、地球温暖化への取組状況については次のとおりで、身近な行動からとり組んでいる状況が分かります。

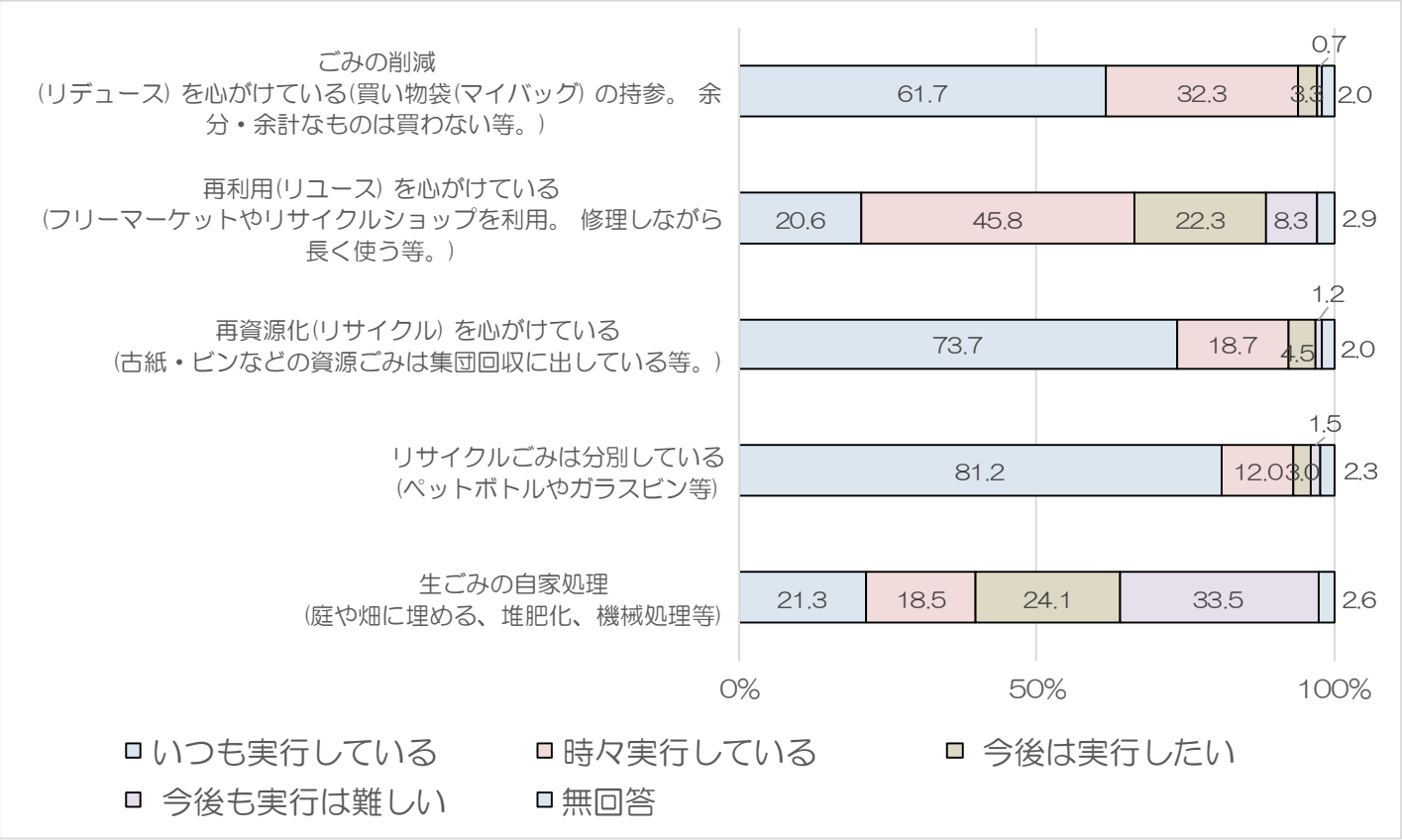


（４） ごみ問題や再資源化（リサイクル）への関心

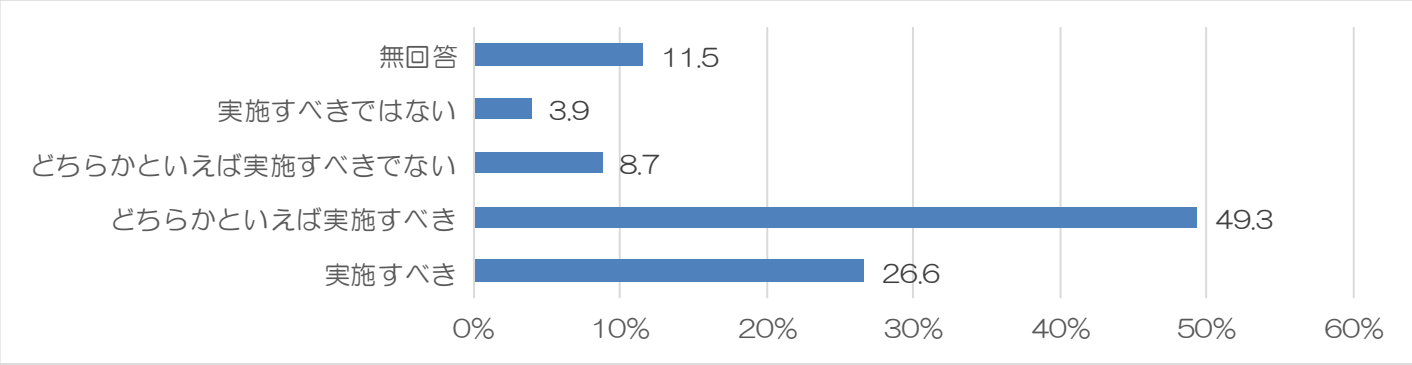
「とても関心がある」「やや関心がある」を足すとおよそ９０％となり、関心の高さが分かります。



なお、ごみ問題等への取組状況については次のとおりで、ごみの削減やリサイクルへの取組状況が高い傾向となっております。

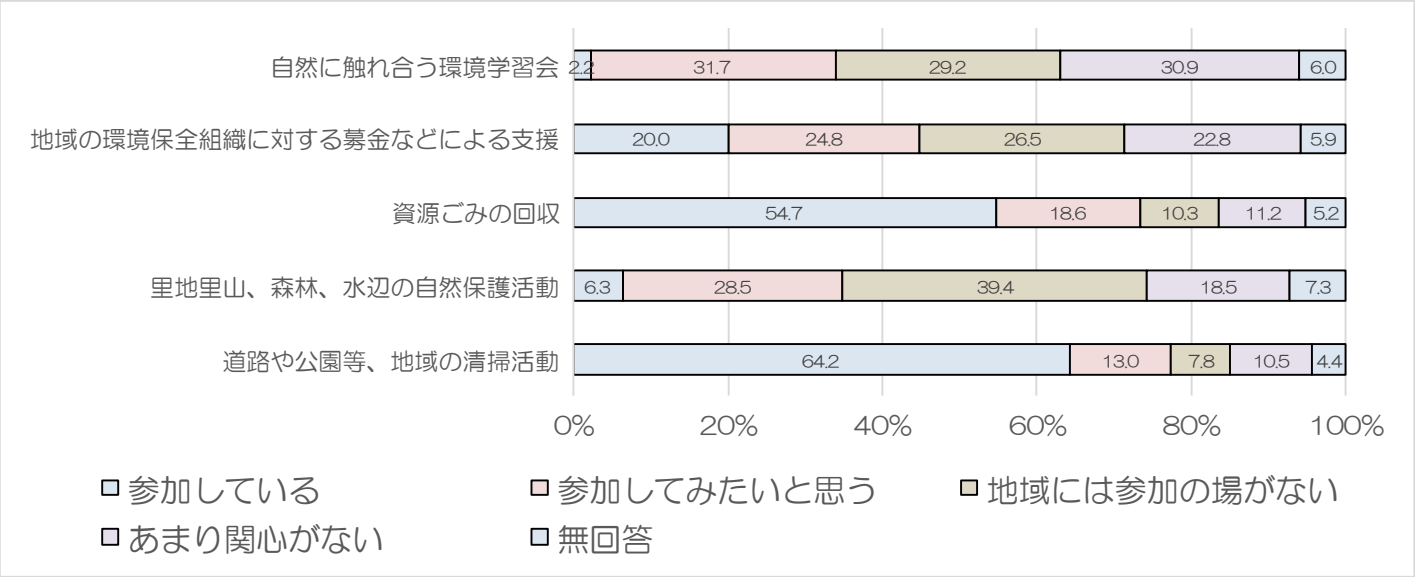


また、白色トレイの分別については、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の回答が７５．９％と分別を行うことを支持する傾向となっております。



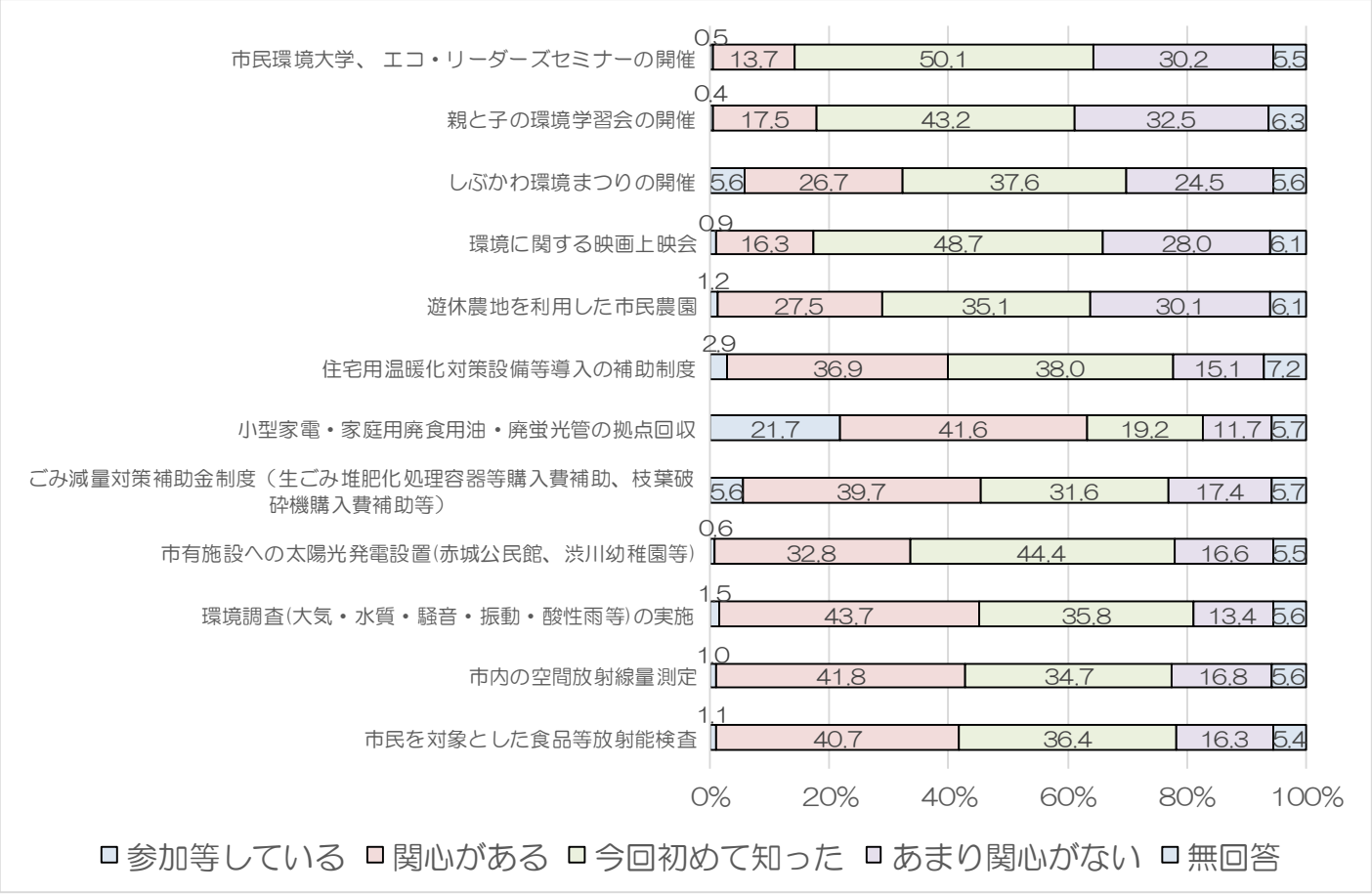
（５）　地域での環境の取組への関心

「地域の清掃活動」「資源ごみの回収」について参加率が高い傾向ですが、「自然保護活動」については地域に参加の場がない、という意見も多い状況です。



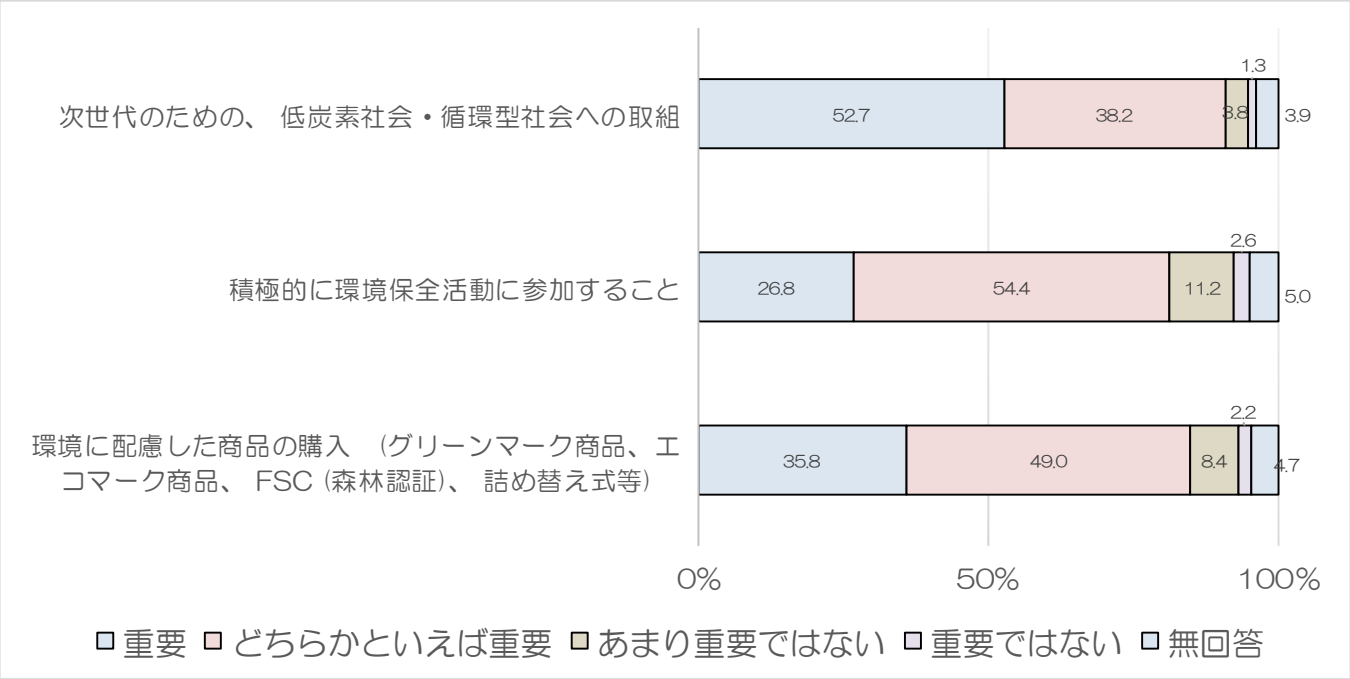
（６）　渋川市の環境への取組についての関心

「小型家電の回収」「しぶかわ環境まつりの開催」等以外の活動が伴わない取組については市としての周知方法等に改善が必要であることが分かります。



（７）　環境保全についての関心

将来に向けた環境保全に対する関心は高い傾向にあることが分かります。



（８）　主な自由意見

市民意識調査における主な自由意見は次のとおりです。

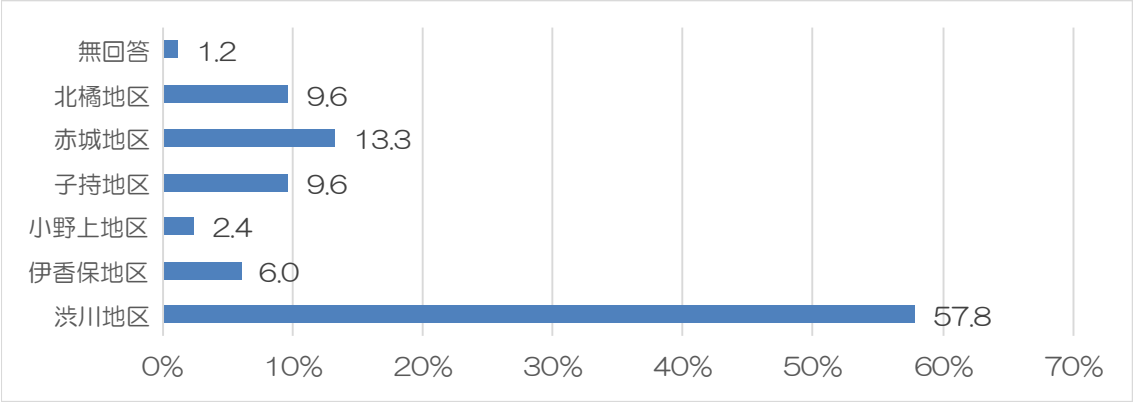
よく冷蔵庫がいっぱいで入らないという会話を聞くが 2～3 日で食べ切れるだけ買えば食品ロスは出ないと思う。
花粉や枯葉等による水のつまりでの水害が心配。
空き家なども含めて「今ある宅地の活用」を推進し、農耕用地や森林等の「緑地を減らさない」方針であれば良いと思う。
空き地や森林の整備、環境ボランティア団体の会員の拡大が必要。
太陽光発電設備も景観を考えて設置して欲しい。また太陽光発電設備が市内に多く設置されているが、土砂崩れしないか心配である。検査等はしているのであろうか？
環境に関する取り組みについて知らないことが多いことが分かった。環境に関する情報をもっと発信して欲しい。
環境問題は必要な課題だが、個人として取り組むには時間的な制約もある。
このアンケートから渋川市の環境に関する取組を知った。自分にできることから少しずつ取り組んでいきたい。小学生ではごみ処理について学び、ごみ処理施設の見学にも行くので、親子で見学に参加できれば、環境に関する親の考え方も変わり、行動変容につながるのではないか。
ごみ出しマナーをきちんと徹底して欲しい。
ごみの日に出しにいくと資源となるアルミ缶等を分別しないで不燃物として出しているのをみると残念に思う。県内、他の市は（子どものいるところ）プラマークは別袋に衣類は別袋等、きちんと分別している。ごみは灰になるが、リサイクルできるものは再利用した方がよいと思う。ごみが多い。
自然が豊かなところが渋川市の良いところの一つであると思うので、もう少し整備、管理をした方がよい。森林も道路も木や植物、雑草等がはえ放題で雑然とした雰囲気を感じる。

３　市民意識調査の結果（事業者対象：有効回答数：８３者）

（１）　事業者対象調査の属性

今回の意識調査における回答事業者の属性は次のとおりとなっております。

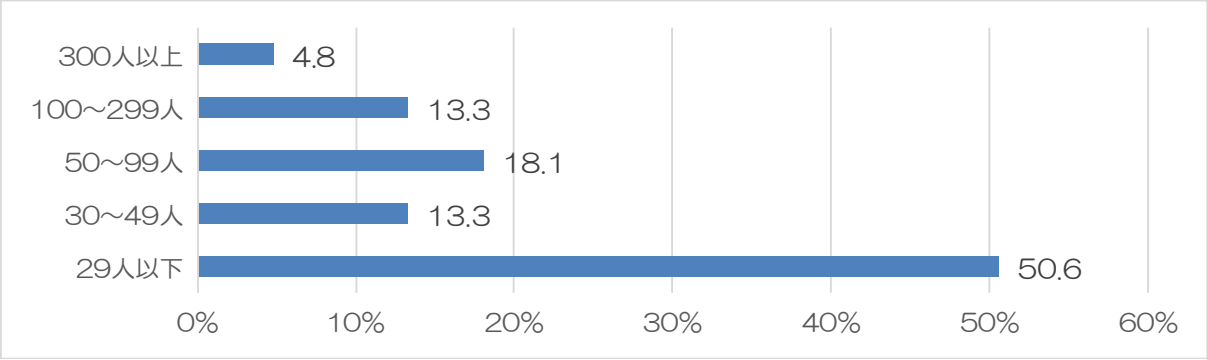
ア　事業者の主たる所在地



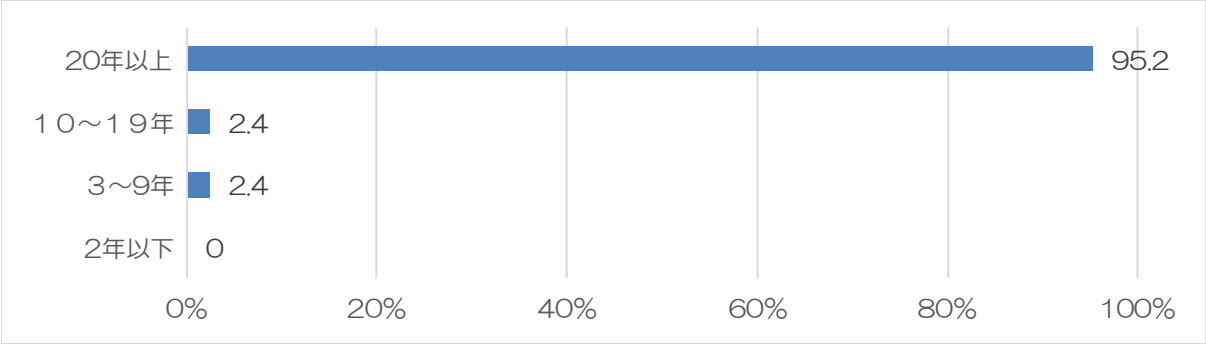
イ　事業者の主たる業種　（単位：者）

農業、林業	1	
漁業	0	
鉱業、採石業	0	
建設業	21	
製造業	18	
電気・ガス等	5	
情報通信業	0	
運輸、郵便業	5	
卸売、小売業	10	
金融、保険業	6	
不動産、賃貸業	0	
学術、専門等	0	
宿泊、飲食等	7	
生活、娯楽業	0	
教育、学習等	0	
医療、福祉	1	
複業サービス業	1	
その他サービス	3	
その他	4	自動車修理、機械器具設置工事業、ゴルフ場、測量・登記
無回答	1	

ウ　事業者の就業者数



エ　事業者の市内での営業年数



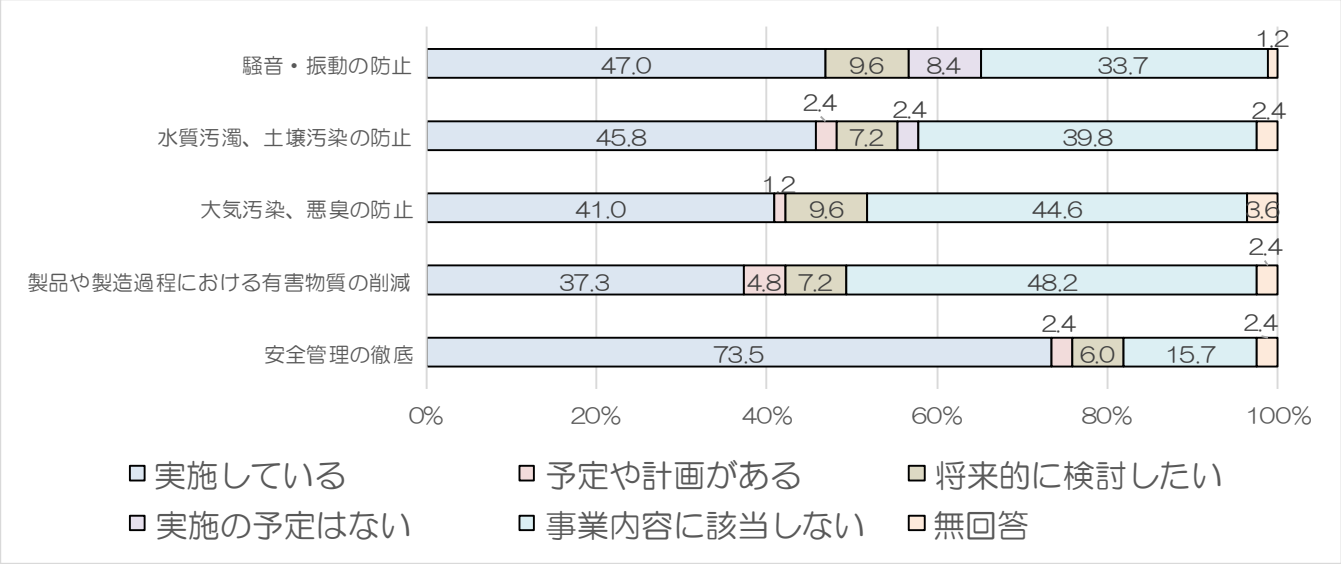
オ　事業者のエネルギー管理指定状況　　（単位：者）

第一種エネルギー管理指定	6
第二種エネルギー管理指定	0
該当しない	68
無回答	9
計	83

（２）　事業所における環境対策の実施状況

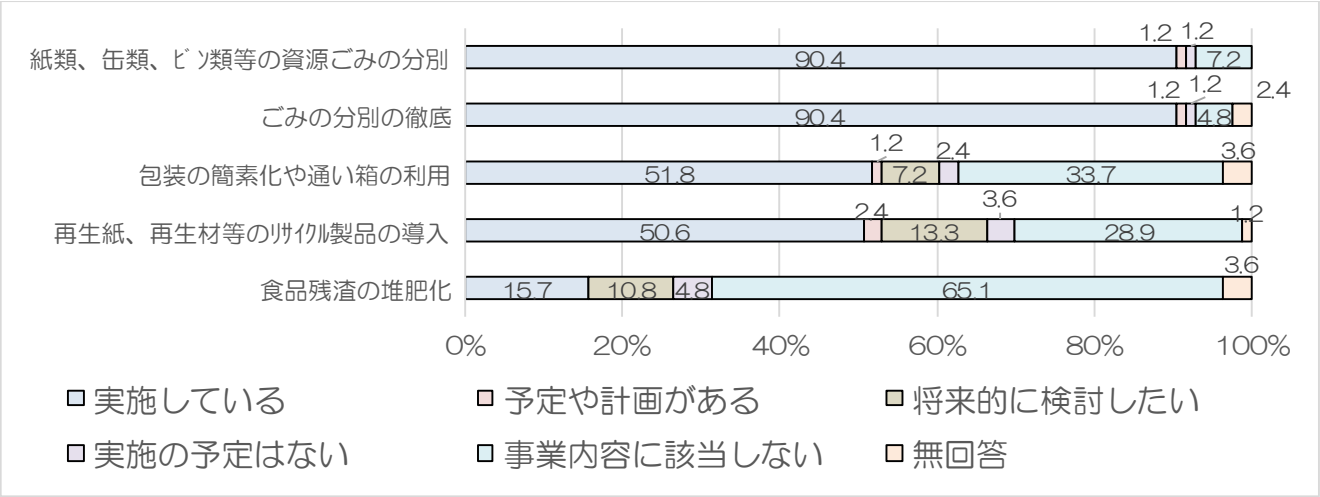
【公害防止関連】

公害の防止に関する対策は予定や計画を含め比較的高い傾向にあります。



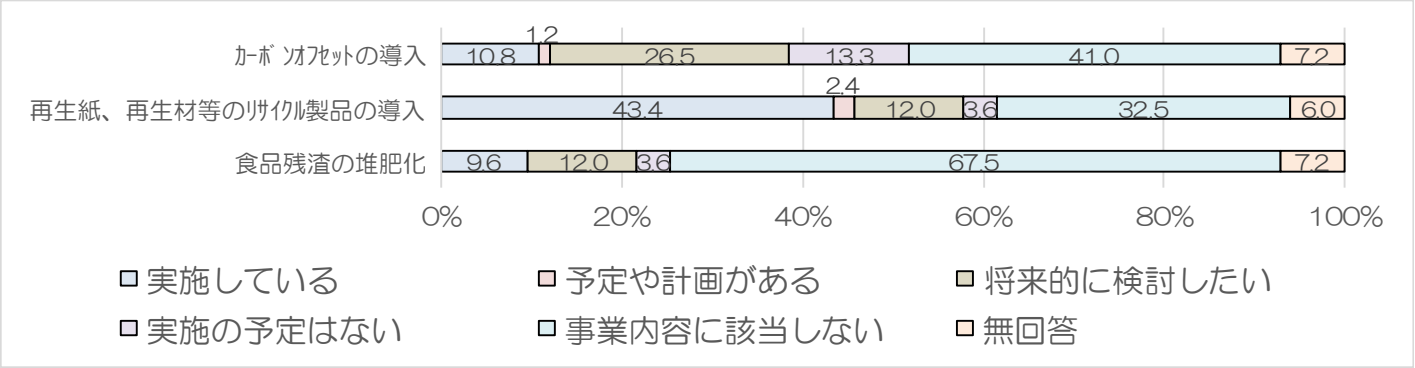
【廃棄物関連】

ごみの分別、リサイクルへの取組等、積極的な取組が行われていることが分かります



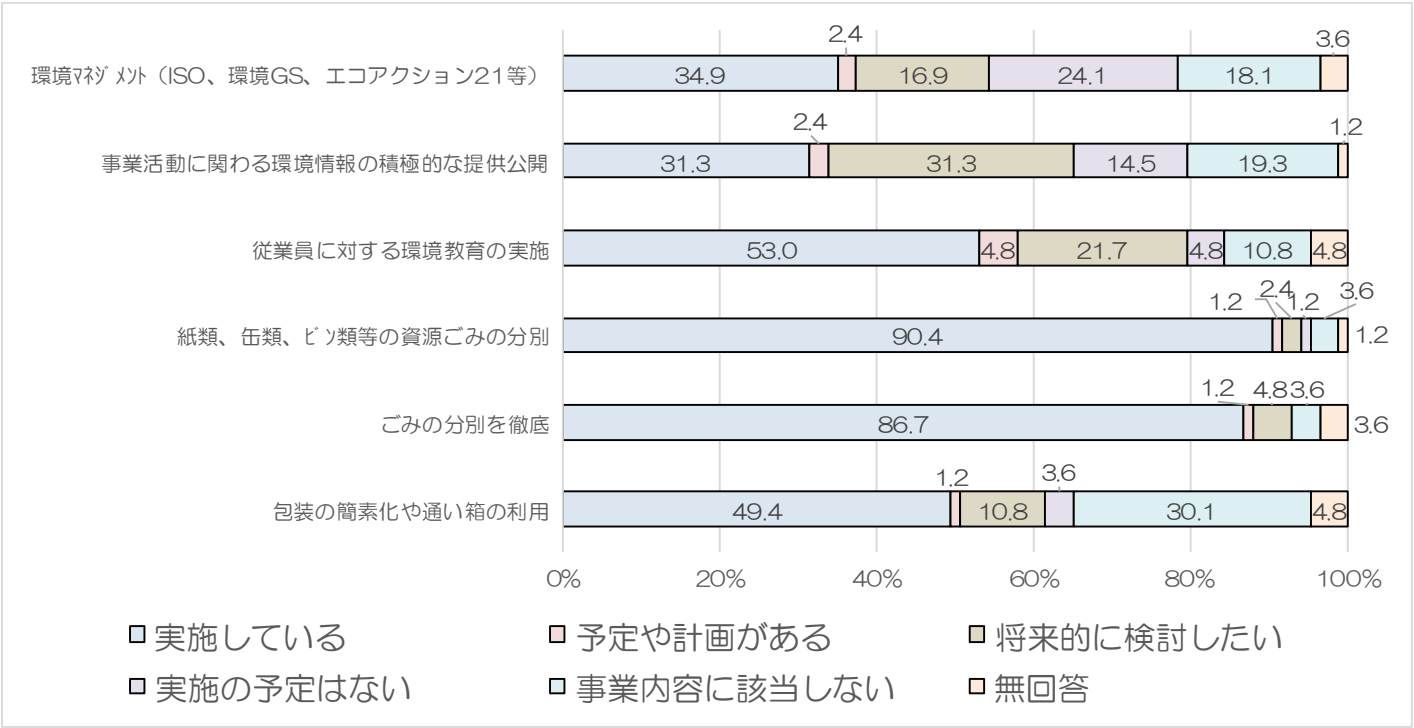
【省エネルギー新エネルギー関連】

事業内容に該当しない事業者も多いが、今後の導入の検討が必要な分野でもあることがわかります。



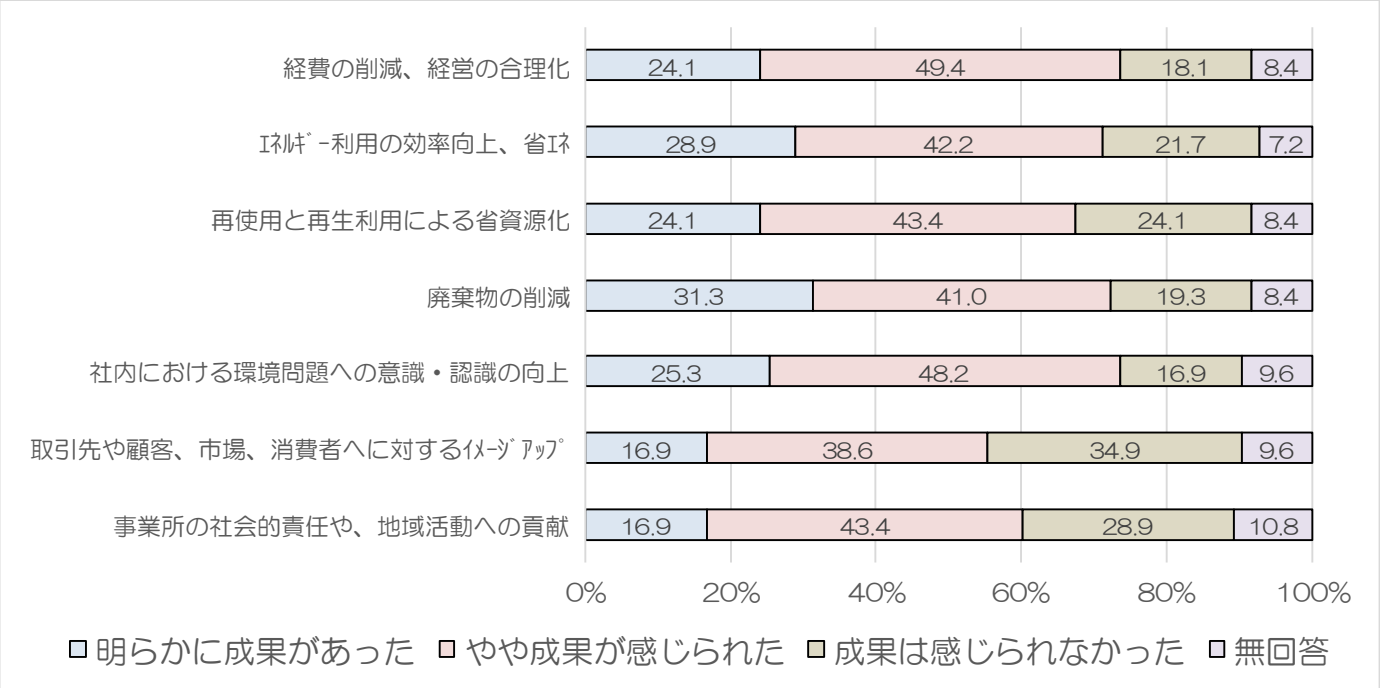
【社内制度関連】

身近な行動からの取組の他に将来的な検討課題として意識していることがわかります。

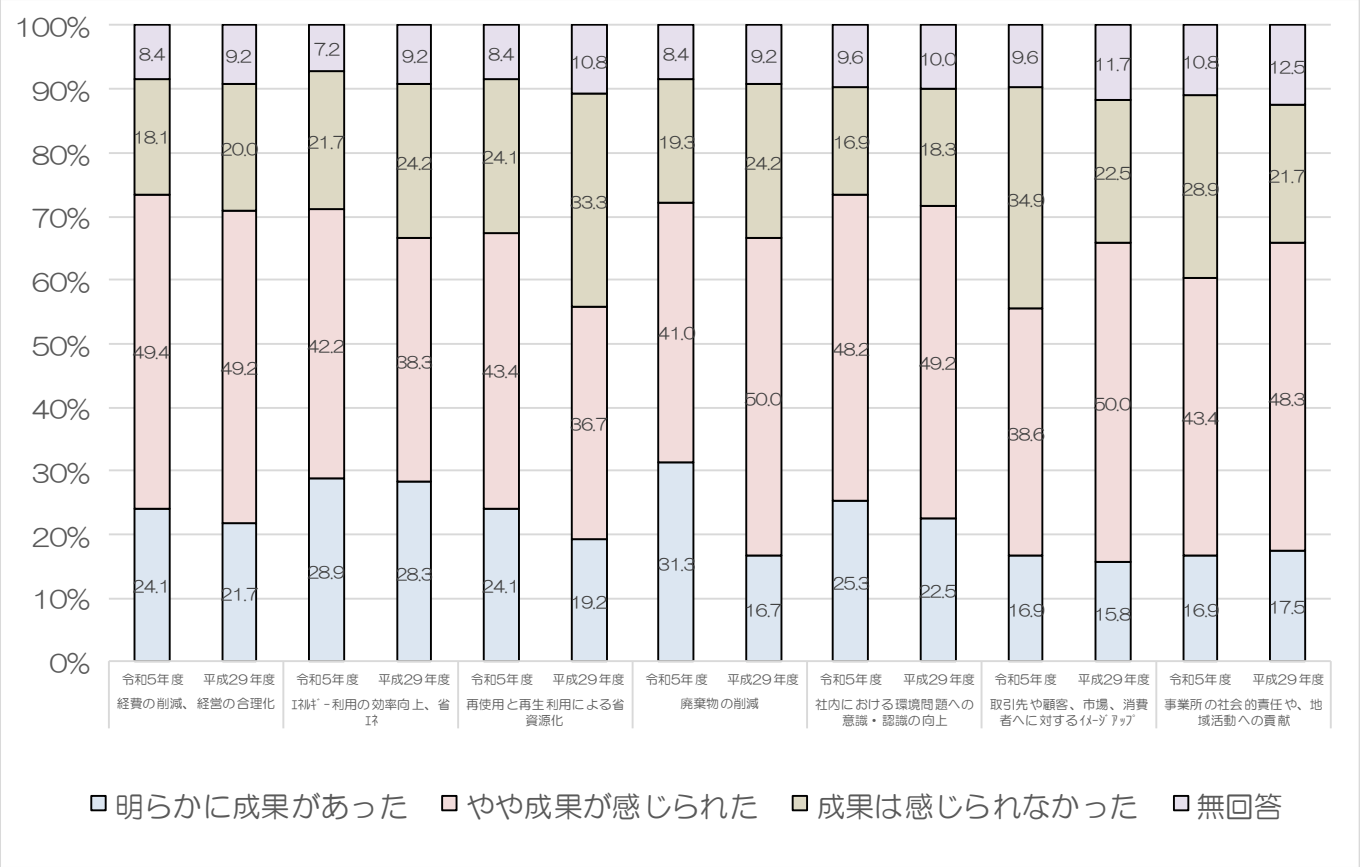


（３）　事業所における環境対策や環境分野での取組成果について

「明らかに成果があった」「やや成果が感じられた」を足すと５０％以上となっており、各事業者の取組対策に成果が生じていることが分かります。

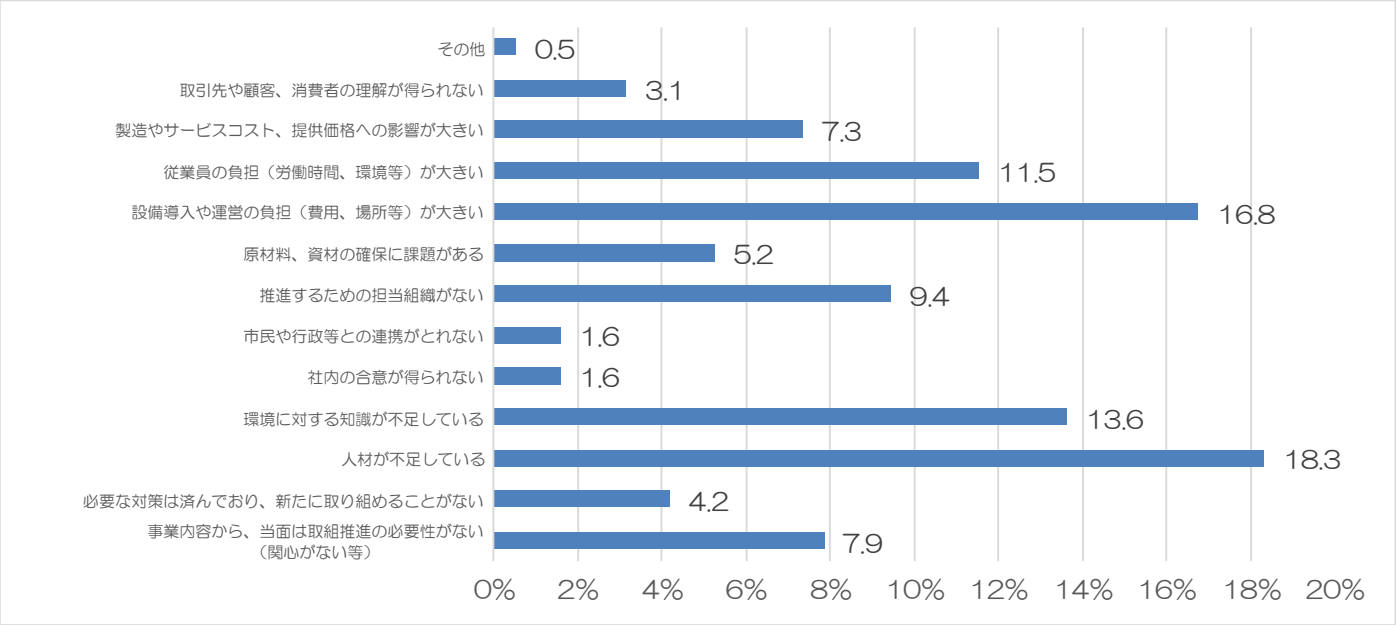


なお、前回平成２９（２０１７）年度の調査と比較は次のとおりです。
「廃棄物の削減」について「明らかに効果があった」との回答が 10%以上上昇しており、ごみの減量化についての取組が進んでいると推測されます。



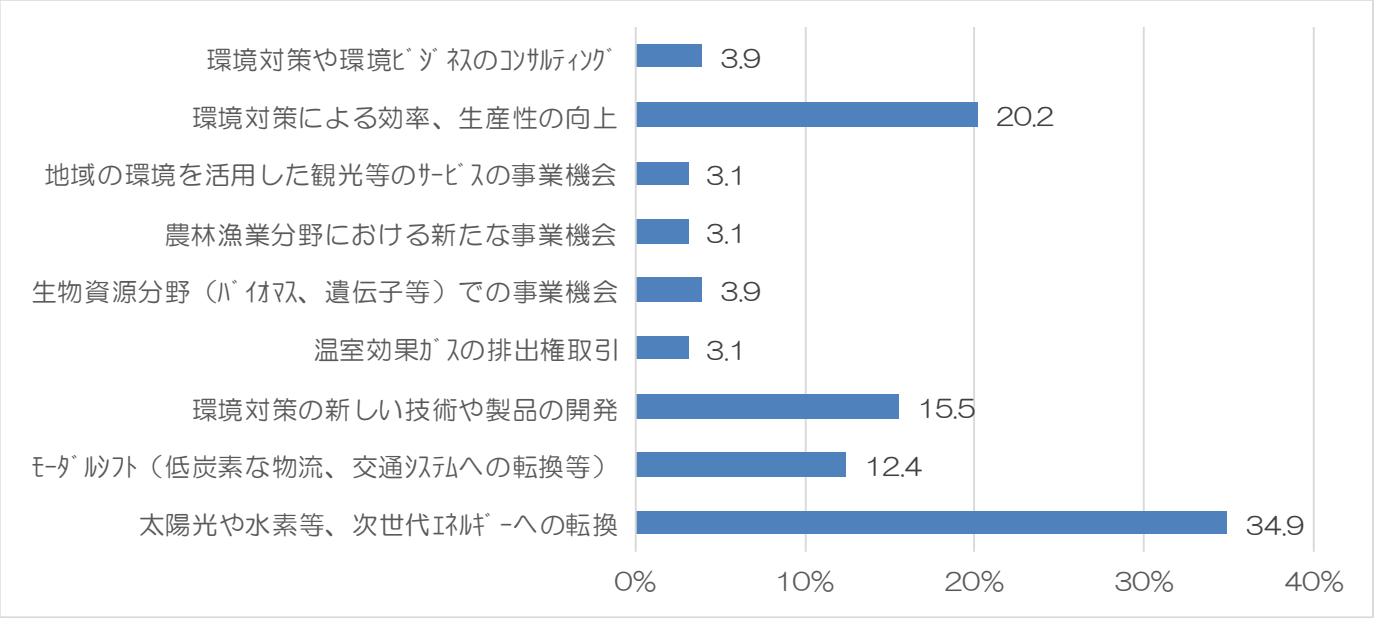
（４）　事業者の現状に対する課題について

環境対策、事業を推進するための人材や経費等の不足を課題と感じていることが分かります。



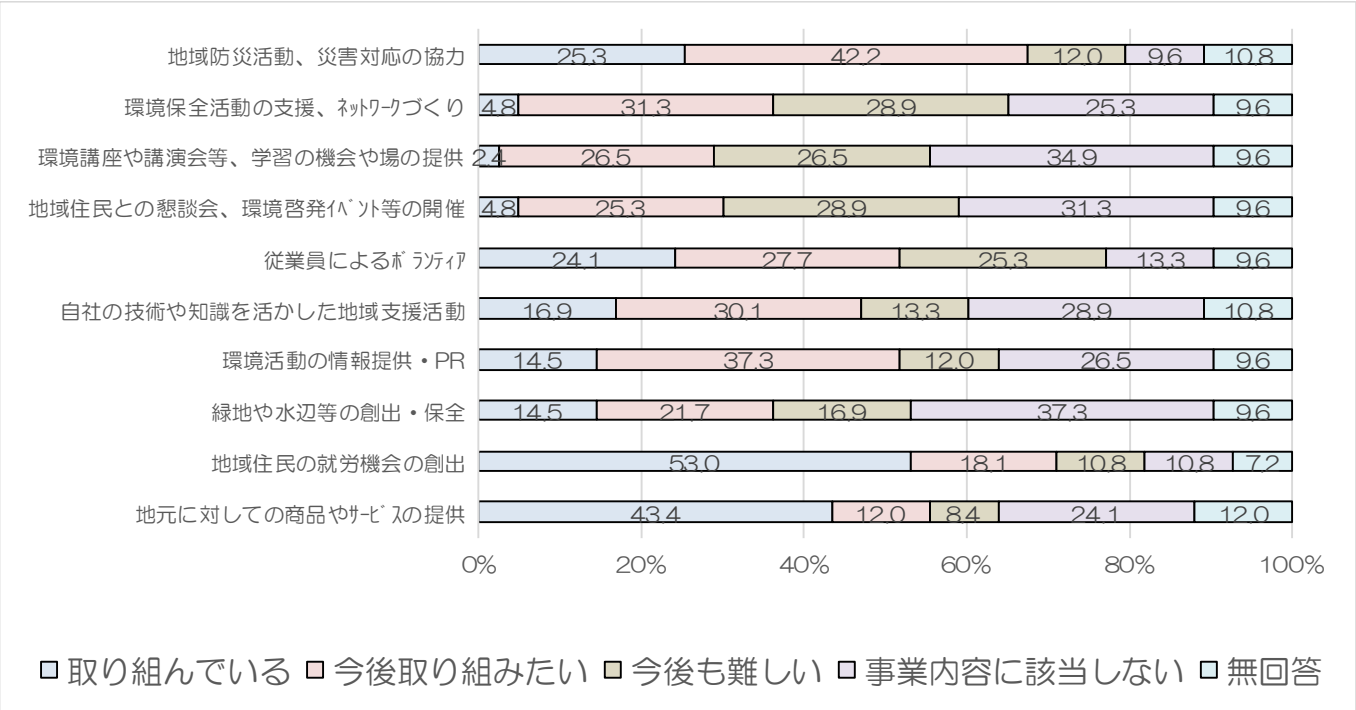
（５）　事業者の今後の事業展開においての関心事について

事業を推進するために次世代エネルギーへの転換や事業の効率化、生産性の向上について関心が高いことが分かります。



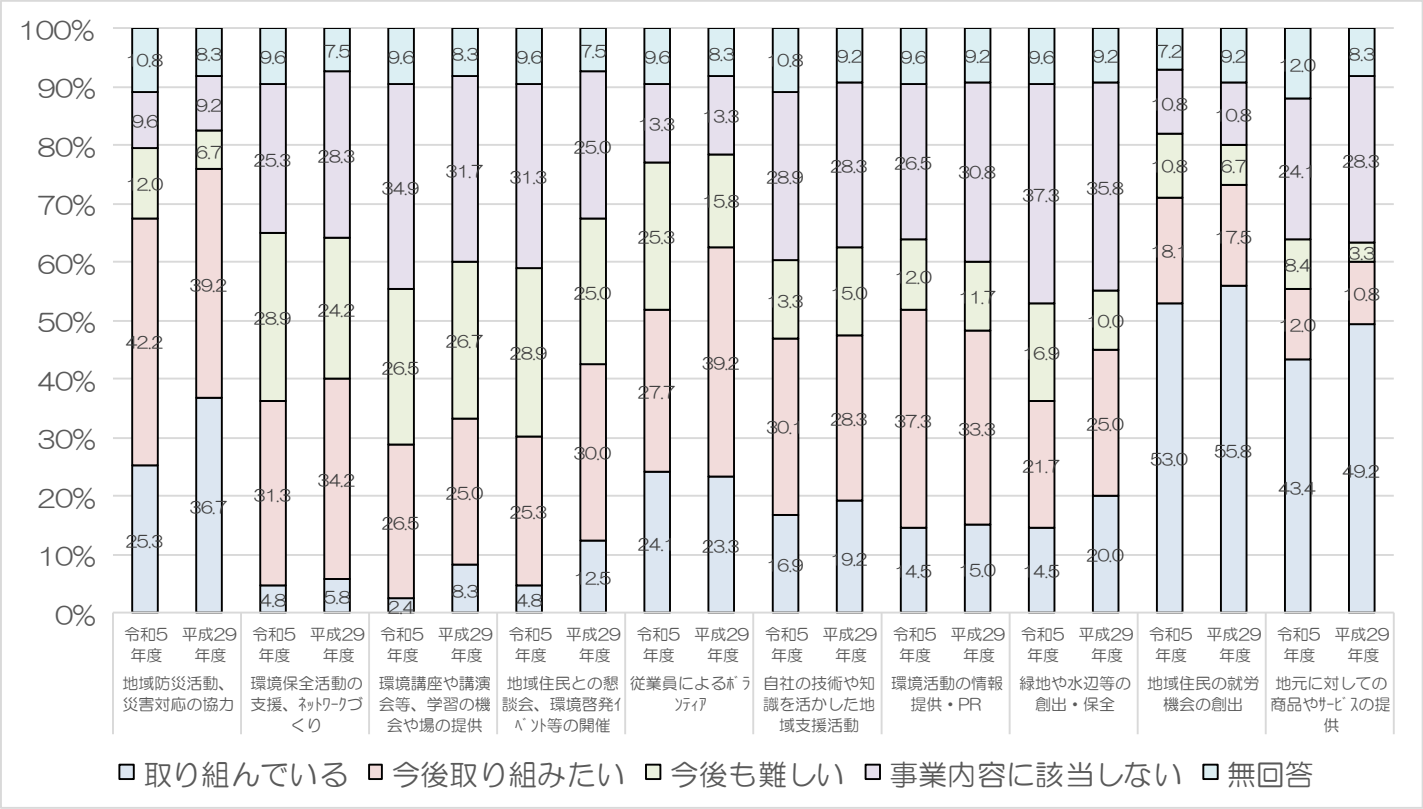
（６）　事業者の地域との関わり方について

現状では就労機会の創出や商品サービスの提供についての取組が多い傾向ですが、防災活動等、今後は地域活動へ参加したいという意見も多い状況です。



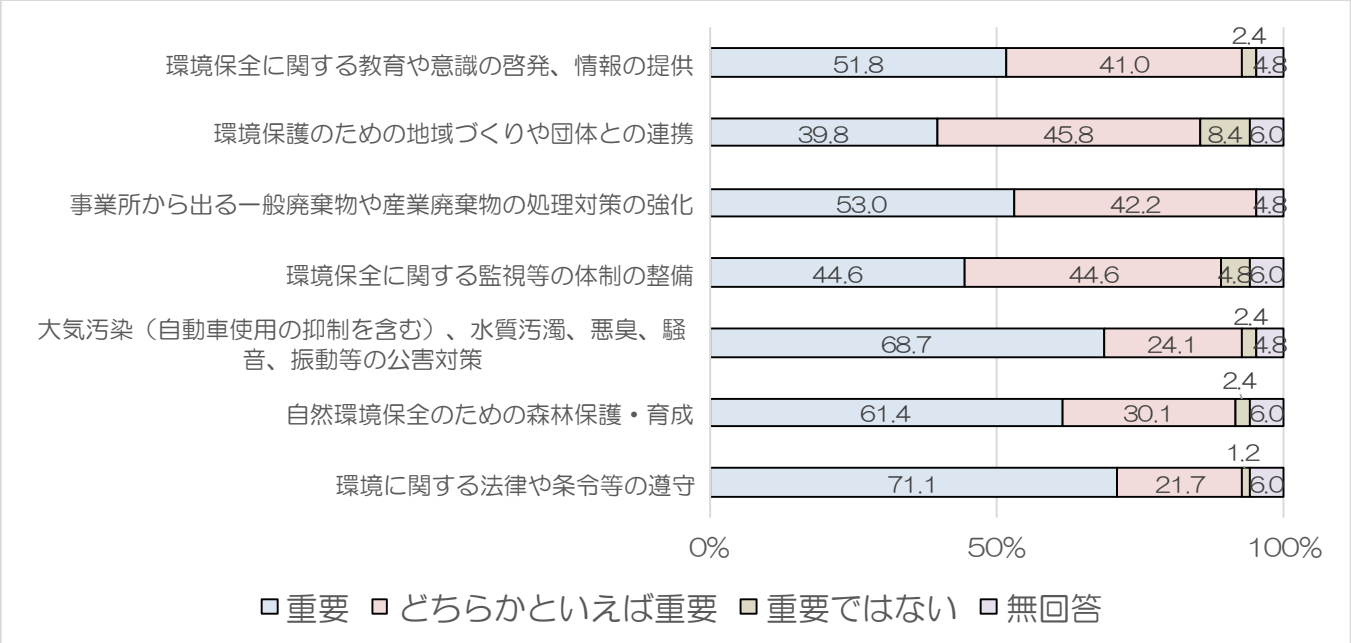
なお、前回平成２９（２０１７）年度の調査と比較は次のとおりです。

新型コロナウイルス感染症の影響で対面でのイベント活動等が減少していますが、就労機会の創出や商品サービス等については大きな変動がない状況です。



（７）　事業者が考える環境保全、改善のための行政や地域との関わり方について

環境保全や改善のために行政や地元との連携、協働を重視していることが分かります。



（８）　主な自由意見

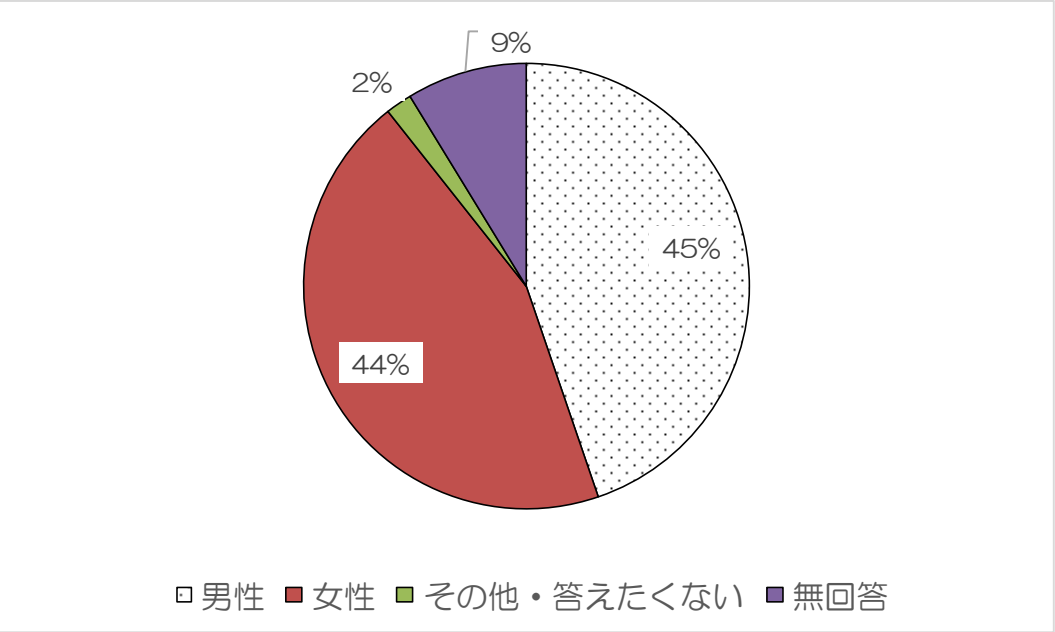
主な自由意見は次のとおりです

ソーラーパネルの設置による景観の悪化
事業者における廃棄物処理コストが高く、処理が困難であったり、先送りしてしまうケースが多々ある。社内では包材を削減したり、再利用したり試行錯誤しているが、破棄コストが下がればありがたい。事業転換時、多角化時などにも追い風となるため、補助金などを検討して欲しい。
「緑の渋川」でありながら（緑は大切）樹木維持に対しての支援が見えない。例えば枝葉の処分等の負担軽減が必要と思う。

4　市民意識調査の結果（中学生対象：有効回答数：４０９人）

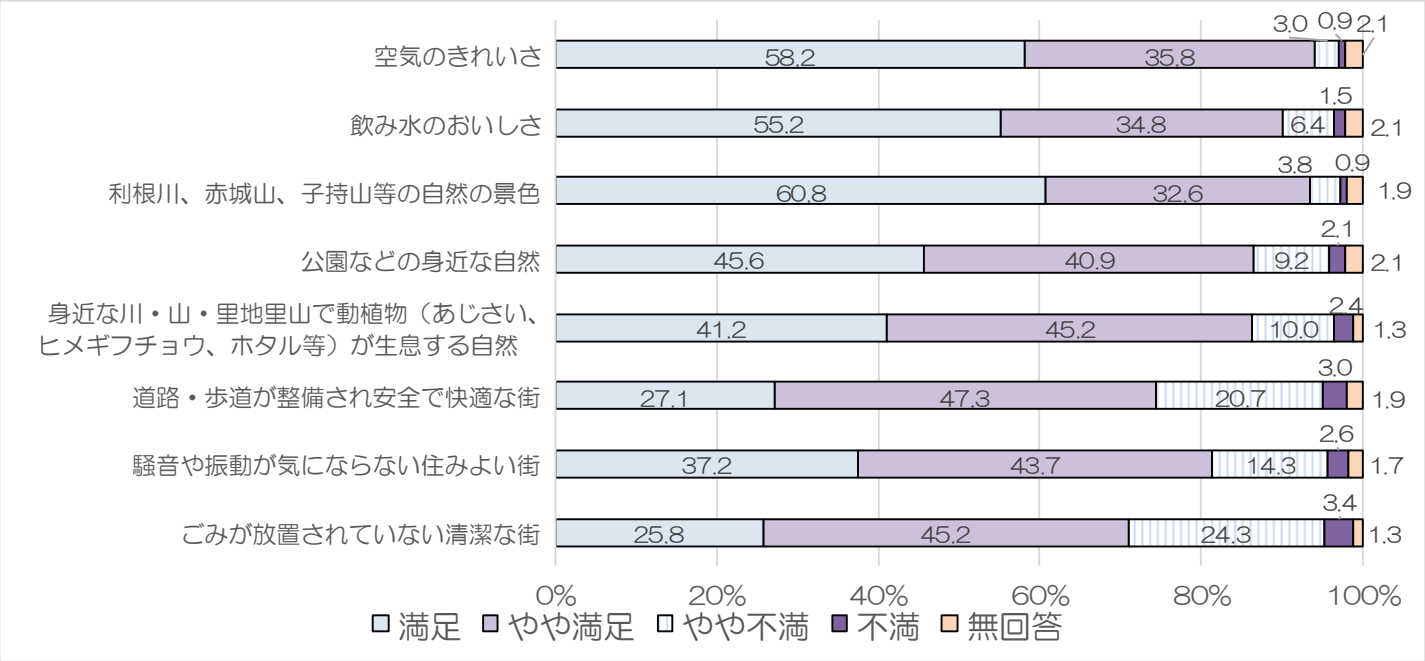
（１）　中学生対象調査の属性

今回の意識調査における中学生の性別は次のとおりとなっております。

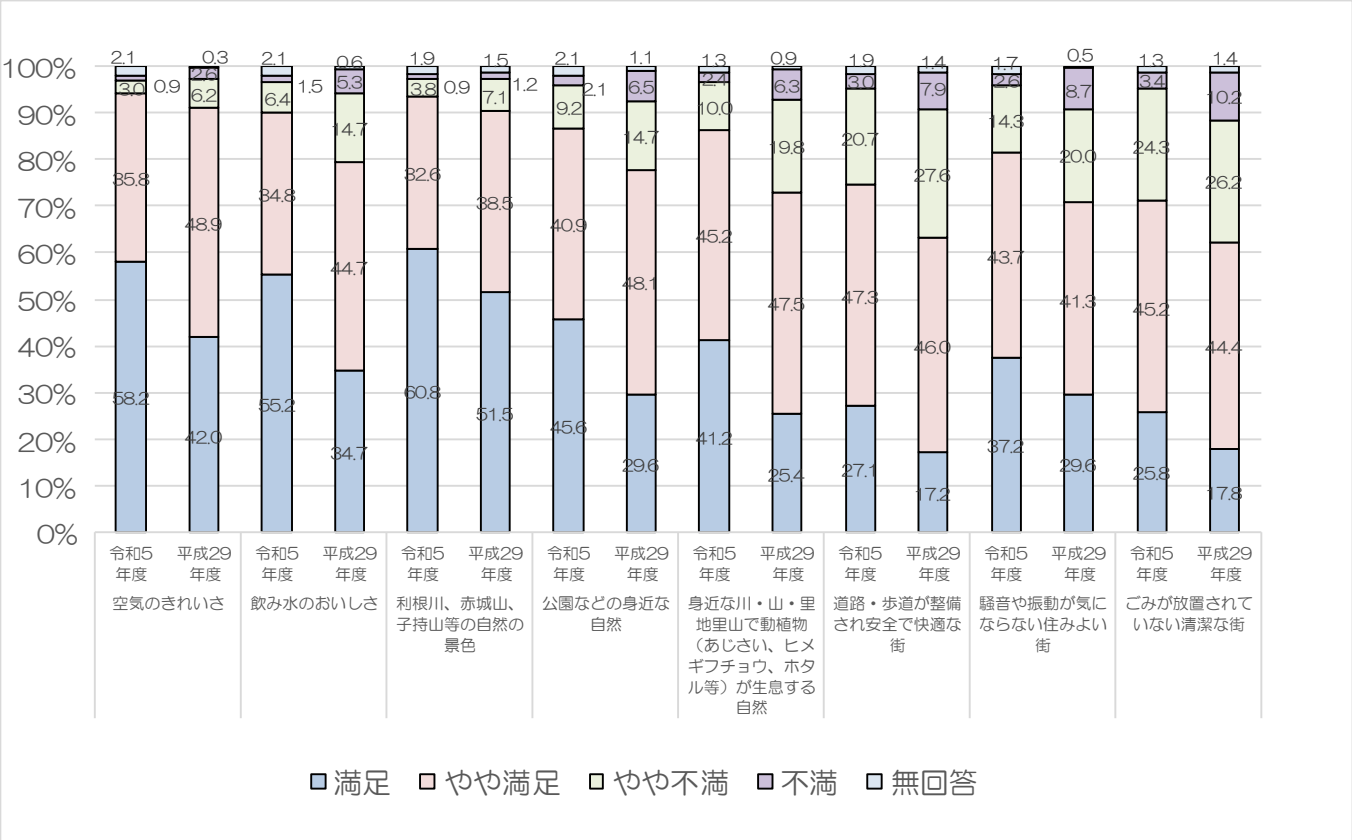


（２）　居住地域の環境に対する満足度

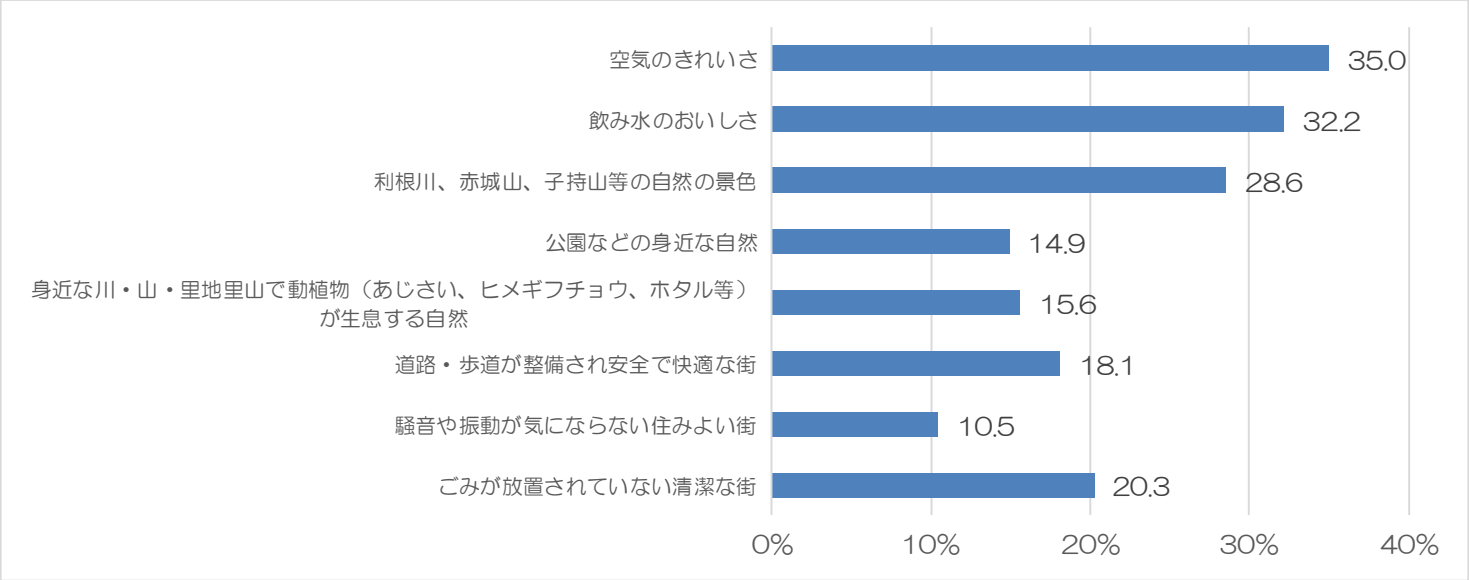
「自然の景色」「空気のきれいさ」「飲み水のおいしさ」が高い傾向となっております。



また、前回平成２９（２０１７）年度の調査と比較しても、自然や空気、飲み水に関して満足度が高い回答となっており経年的な変化はあまり見られませんでした。

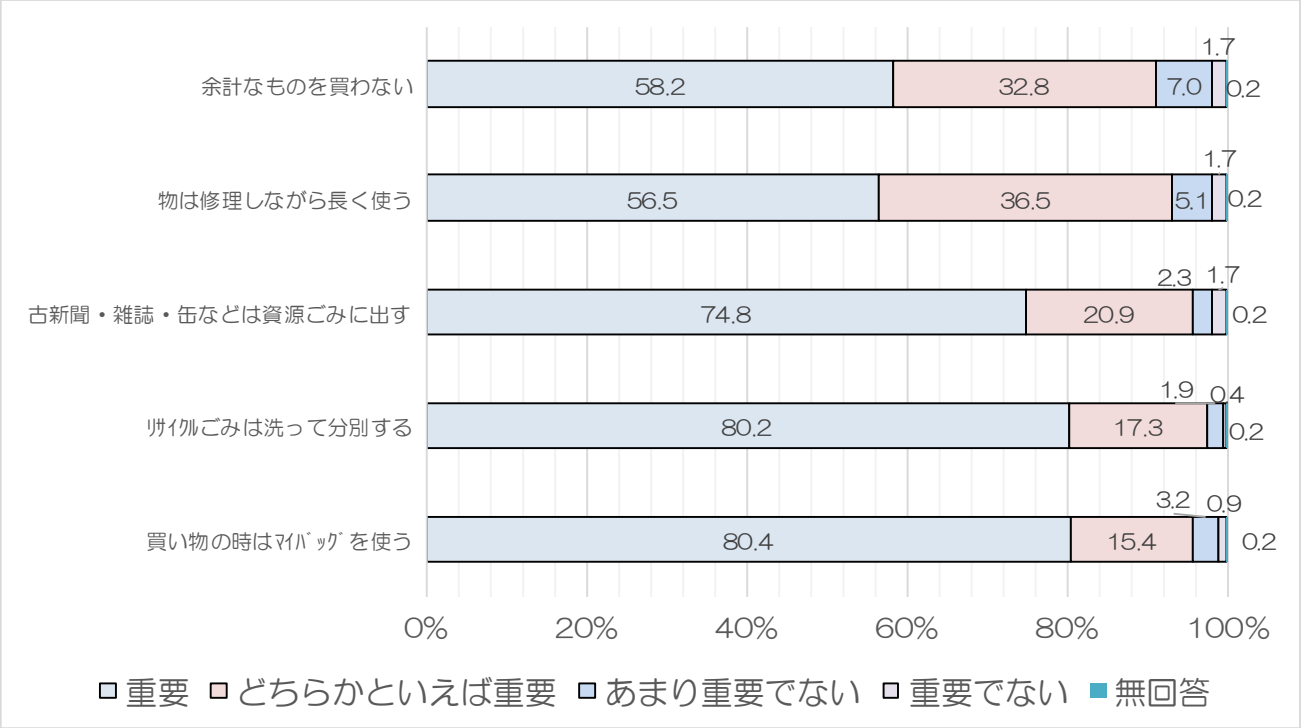


また、将来に向けて引き継いだ方がよい事項の回答は次の件数です。空気、飲み水、自然について高い回答となっております。



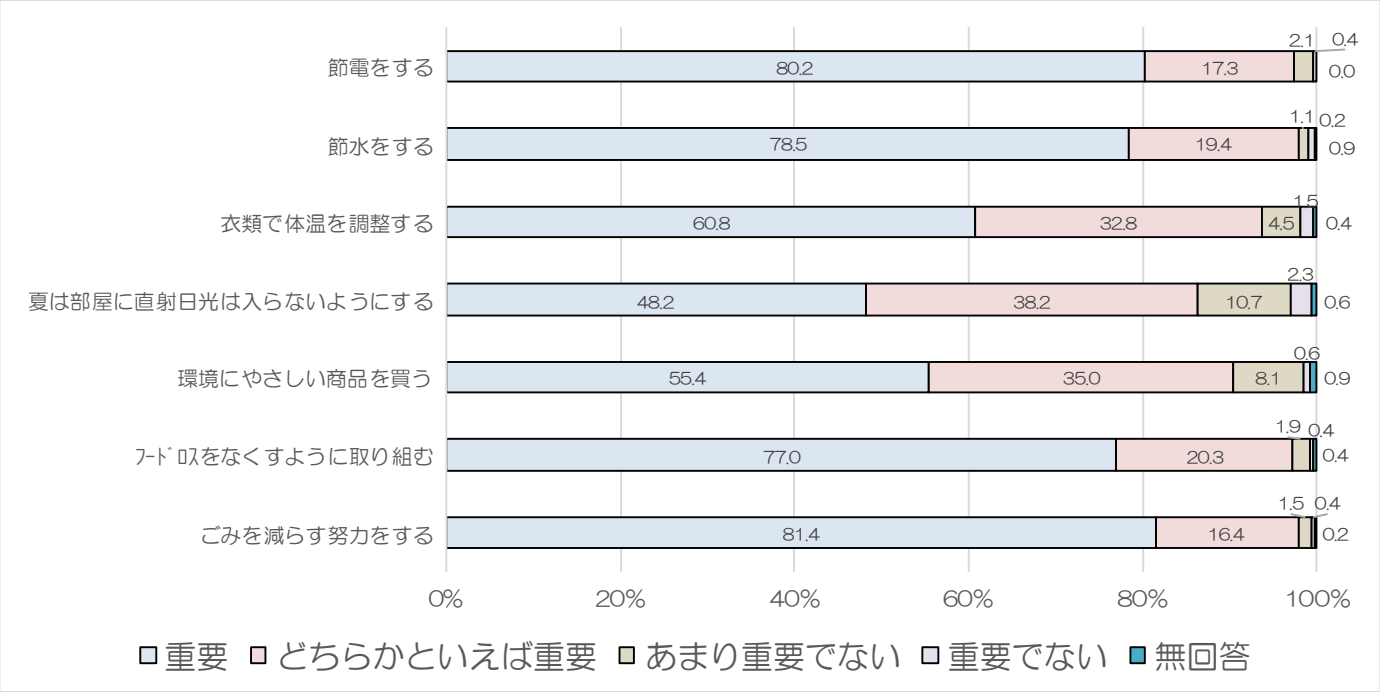
（３） 生活の中でごみを減らすために重要なこと

「マイバッグの利用」「リサイクルごみの洗っての分別」をはじめごみの減量化に向けた取組における中学生の意識の高い傾向が分かります。



（４） 生活の中で環境をまもるために重要なこと

「節電」「節水」をはじめ生活の中でとり組める活動を重要と考えている傾向が分かります。



（５）　主な自由意見

主な自由意見は次のとおりです。

環境がすごくきれいで、守り続けたいなと思う。でも、ポイ捨てやプラスチックごみの処分方法等、いろいろ問題もあると思う。その問題を少しでも解決するために自分の地域でも問題を解決できればと思う。
近年は今までより気温が高くなり、生活しづらくなっていて、地球温暖化を阻止しないといけないと思う。
ごみが落ちていて、ポイ捨てをしている人が多く、汚い。
自分でもエコバッグを持っていくなどをして、協力している。
地域の身近でよく見られるごみ回収場所に指定日ではない日に出されているごみがあり、カラス等に荒らされて周辺が汚れてしまっていることがある。
場所によって整備がしっかりされているところと、整備があまりされていないところの差が大きい。
道路がでこぼこしているから、もっときれいに事故のないようにして欲しい。
電気を使った生活が当たり前になってきて、小学校の時は、夜寝る前に電気を消さないで寝てしまうことがあり、環境問題を知ったときに、もったいないな、しっかり直そうと思った。今は節電を意識している。
通学路の見通しや草が伸びていて歩きづらい。車を使用している人が多く排気ガス等が出ている。
空気もおいしく、きれいな水が飲めてとても住みやすい町になっている。ただ、最近少し騒音がうるさいと感じている。

第２次渋川市環境基本計画見直しのための市民意識調査

ご協力のお願い

市民の皆様には、日ごろから市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

渋川市では、平成３１年に「豊かな自然と多様な風土をみんなで守り育て継承するまち・しぶかわ」を環境像とした「第２次渋川市環境基本計画」を策定しました。

計画の策定から４年が経過し、社会情勢の変化等を踏まえ、環境行政に関する新たな課題へ取り組むため、これまでの施策、事業の評価、点検を行い、基本計画の見直しを行います。

このため、本調査を実施し、市民の皆様の環境に関する実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画に反映していきたいと考えております。

なお、回答にあたっては、氏名の記入は不要であり、また、回答結果については、計画見直しの資料としてのみ活用するため、個々の回答内容や個人情報が公表されることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和５年７月

渋川市長　　髙　木　　勉

＜ご記入にあたってのお願い＞

◆ご回答は、お送りした封筒のあて名のご本人にお願いします。
◆ご回答は、あてはまる答えの番号を〇で囲んでください。
◆回答する〇の数はそれぞれ異なります。（　）内のことわり書きに従ってご記入ください。
（　）がない場合、回答する〇の数は1つです。
◆ご記入いただいた意識調査票は、令和5年8月31日（木）までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いします。

＜問い合わせ先＞
渋川市　市民環境部　環境森林課　環境政策係　ＴＥＬ：0279-22-2114
ＦＡＸ：0279-24-6541

用語解説

1　里地里山
人が集まって住んでいる所と、その周辺にある農地・ため池・管理されている山や森林などからなる地域。

2　クールビズ、ウォームビズ
過度にエアコンに頼らず、服装などの調整で快適に過ごすこと。

3　グリーンカーテン
植物を建築物の外側に生育させることにより、建築物の温度上昇抑制を図る省エネルギー手法。

4　エコカー
ハイブリッドカーや電気自動車など。

5　資源ごみ
再資源化が可能なごみ。主に古紙類、缶、ビンなど、各地区で集団回収するもの。

6　リサイクルごみ
再資源として利用(リサイクル）できるごみ。渋川市ではペットボトルとガラスビンを月2回集積所で回収するもの。

7　白色トレイ
スーパーなどで肉・魚・総菜などを乗せていたトレイで、「色や模様がなく真っ白なトレイ」のこと。

8　低炭素社会
二酸化炭素の排出を大幅に削減する社会。

9　循環型社会
有限な資源を効率的に利用するとともに再生産を行い、持続可能な形で循環させ利用していく社会のこと。

10　グリーンマーク商品
古紙を原則として 40%以上原料としている商品等。

11　エコマーク商品
環境に負荷が少なく、あるいは、環境改善に役立つ環境にやさしい商品。

12　FSC（森林認証）
森林の管理や伐採が、環境や地域社会に配慮して行なわれている森林を認証する仕組みで、その森林から生産された木材や木材製品（紙製品を含む）にマークを付けて販売する。

13　フードロス
本来食べられるのに捨てられる食品。

Ⅰ　最初にあなたご自身についておたずねします。

問1　あなたご自身について教えてください。（1つに○）

1．男性	2．女性	3．その他・答えたくない

問2　あなたのお住まいの地区を教えてください。（1つに○）

1．渋川地区	2．伊香保地区	3．小野上地区
4．子持地区	5．赤城地区	6．北橘地区

問3　あなたの年齢を教えてください。（1つに○）

1．18～19 歳	2．20～29 歳	3．30～39 歳	4．40～49 歳
5．50～59 歳	6．60～69 歳	7．70 歳以上	

問4　あなたの職業を教えてください。（1つに○）

1. 会社員・役員	2. 自営業・自由業	3. 専門職	4. 公務員
5. 学生	6. 専業主婦・主夫	7. パート・アルバイト	8. その他

問5　あなたの市内での居住年数を教えてください。（1つに○）
※合併（平成18年2月18日）前の居住年数（現市域内）も含めてください。

1．9 年以下	2．10～19 年	3．20～29 年
4．30～39 年	5．40 年以上	

問6　あなたの居住経歴を教えてください。（1つに○）
※合併（平成18年2月18日）前の居住年数（現市域内）も含めてください

1．渋川市外に住んだことはない
2．渋川市出身だが市外に住んだこともある
3．市外から渋川市に転入した

問7　あなたの現在の同居の家族構成を教えてください。（1つに○）

1．ひとり暮らし	2．２人暮らし	3．３人暮らし
4．４人暮らし	5．５人以上	

問8　あなたの自家用車の所有状況について教えてください。（1つに○）

1．自分専用の車を所有	2．世帯内で車を共有	3．所有していない

Ⅱ　お住まいの環境についておたずねします。

問9　お住まいの環境の満足度について、それぞれの項目で1つだけ選んで、番号に○をつけてください。
また、次世代に引き継いだ方が良いと思う事項について3つまで選んで○を記入してください。

	現状の評価				引き継いだ方よい事項
	満足	やや満足	やや不満	不満	
1. 空気のきれいさ	1	2	3	4	
2. 飲み水のおいしさ	1	2	3	4	
3. 利根川、赤城山、子持山等の自然の景色	1	2	3	4	
4. 公園などの身近な自然	1	2	3	4	
5. 身近な川・山・里地里山で動植物（あじさい・ヒメギフチョウ・ホタル等）が生息する自然	1	2	3	4	
6. 道路・歩道が整備され安全で快適な街	1	2	3	4	
7. 騒音や振動が気にならない住みよい街	1	2	3	4	
8. ごみが放置されていない清潔な街	1	2	3	4	
9. ごみ出しのマナー	1	2	3	4	
10. 自治会などの地域活動	1	2	3	4	
11. ごみの減量化、リサイクルに取り組む街	1	2	3	4	
12. フードロスの対策に取り組む街	1	2	3	4	
13. 太陽光等の再生可能エネルギーの活用に取り組む街	1	2	3	4	
14. 二酸化炭素の削減と地球温暖化対策に取り組む街	1	2	3	4	

Ⅲ　地球温暖化問題についておたずねします。

問10　地球温暖化問題への関心について1つだけ選んで○をつけてください。

1．とても関心がある	2．やや関心がある
3．あまり関心がない	4．全く関心がない

問11　あなたは普段の生活の中で、地球温暖化に対してどのような取組を行っていますか。それぞれの項目で1つだけ選んで番号に○をつけてください。

	現状の評価			
	いつも実行している	時々実行している	今後は実行したい	今後も実行は難しい
1. 節電に取り組んでいる （不要な照明や家電の電源を切る。エアコンの設定温度を 28 度程度、冬 20 度程度等。）	1	2	3	4
2. 節水に取り組んでいる （風呂の残り湯や雨水を利用。節水器具の使用。洗顔やシャワーの時に水を出し放しにしない等。）	1	2	3	4
3. クールビズ、ウォームビズに取り組んでいる （夏は軽装、冬は厚着をする等。）	1	2	3	4
4. 建物の遮熱、 日射遮へいに取り組んでいる （グリーンカーテン、 すだれ、 屋上緑化、壁面緑化、二重ガラスの設置等。）	1	2	3	4
5. エネルギーの消費量を確認・点検している （検針票等で電気使用量を確認するなど見える化に取り組む等。）	1	2	3	4
6. 省エネを実施している （LED 電球の購入。 省エネ家電製品やエコカーの購入等。）	1	2	3	4
7. 自然エネルギーを利用している （太陽光、リチウムイオン蓄電池、 太陽熱温水器または小型風力発電の設置等。）	1	2	3	4
8. 環境負荷の少ない移動方法を選択している （自転車や公共交通機関を利用。 停車時にエンジンを止める等。）	1	2	3	4
9. 市が主催する環境学習に参加している （市民環境大学や親と子の環境学習会等。）	1	2	3	4

Ⅳ　ごみ問題や再資源化（リサイクル）についておたずねします。

問12　ご家庭でのごみ問題や再資源化（リサイクル）への関心について1つだけ選んで○をつけてください。

1．とても関心がある	2．やや関心がある
3．あまり関心がない	4．全く関心がない

問13　あなたは普段の生活の中で、ごみ問題等に対してどのような取組を行っていますか。それぞれの項目で1つだけ選んで番号に○をつけてください。

	現状の評価			
	いつも実行している	時々実行している	今後は実行したい	今後も実行は難しい
1. ごみの削減（リデュース）を心がけている （買い物袋(マイバッグ）の持参。 余分・余計なものは買わない等。）	1	2	3	4
2. 再利用(リユース）を心がけている （フリーマーケットやリサイクルショップを利用。 修理しながら長く使う等。）	1	2	3	4
3. 再資源化（リサイクル）を心がけている （古紙・ビンなどの資源ごみは集団回収に出している等。）	1	2	3	4
4. リサイクルごみは分別している （ペットボトルやガラスビン等）	1	2	3	4
5. 生ごみの自家処理 （庭や畑に埋める、堆肥化、機械処理等）	1	2	3	4

問14　白色トレイの分別など、ごみ分別の細分化ついて、1 つだけ選んで印をつけてください。

1．実施すべき	2．どちらかといえば実施すべき
3．どちらかといえば実施すべきでない	4．実施すべきではない

Ⅴ　地域での環境の取組についておたずねします。

問15　あなたのお住まいの地域で行われている環境活動への参加状況について、それぞれの項目で1つだけ選んで番号に○をつけてください。

	現状の評価			
	参加している	参加してみたいと思う	地域には参加の場がない	あまり関心がない
1. 道路や公園等、地域の清掃活動	1	2	3	4
2. 里地里山、森林、水辺の自然保護活動	1	2	3	4
3. 資源ごみの回収	1	2	3	4
4. 地域の環境保全組織に対する募金などによる支援	1	2	3	4
5. 自然に触れ合う環境学習会	1	2	3	4

Ⅵ　渋川市の環境への取組についておたずねします。

問16　渋川市では、次のような環境施策を実施しています。 あなたの関心について、それぞれの項目で１つだけ選んで番号に○をつけてください。

	現状の評価			
	参加等している	関心がある	今回初めて知った	あまり関心がない
1. 市民環境大学、 エコ･リーダーズセミナーの開催	1	2	3	4
2. 親と子の環境学習会の開催	1	2	3	4
3. しぶかわ環境まつりの開催	1	2	3	4
4. 環境に関する映画上映会	1	2	3	4
5. 遊休農地を利用した市民農園	1	2	3	4
6. 住宅用温暖化対策設備等導入の補助制度	1	2	3	4
7. 小型家電・家庭用廃食用油・廃蛍光管の拠点回収	1	2	3	4
8. ごみ減量対策補助金制度（生ごみ堆肥化処理容器等購入費補助、枝葉破砕機購入費補助等）	1	2	3	4
9. 市有施設への太陽光発電設置（赤城公民館、渋川幼稚園等）	1	2	3	4
10. 環境調査（大気・水質・騒音・振動・酸性雨等）の実施	1	2	3	4
11. 市内の空間放射線量測定	1	2	3	4
12. 市民を対象とした食品等放射能検査	1	2	3	4

Ⅶ　最後に環境保全についておたずねします。

問17　環境保全へのあなたのお考えについて、それぞれの項目で１つだけ選んで番号に○をつけてください。

	現状の評価			
	重要	どちらかといえば重要	あまり重要ではない	重要ではない
1. 次世代のための、 低炭素社会・循環型社会への取組	1	2	3	4
2. 積極的に環境保全活動に参加すること	1	2	3	4
3. 環境に配慮した商品の購入（グリーンマーク商品、エコマーク商品、 FSC（森林認証）、 詰め替え式等）	1	2	3	4

渋川市の環境全般に対して、ご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

内容をご確認のうえ、令和5年8月31日（木）までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

なお、渋川市環境森林課環境政策係でも直接受け付けております。

第２次渋川市環境基本計画見直しのための市民意識調査

ご協力のお願い

日ごろから市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

渋川市では、平成３１年に「豊かな自然と多様な風土をみんなで守り育て継承するまち・しぶかわ」を環境像とした「第２次渋川市環境基本計画」を策定しました。

計画の策定から４年が経過し、社会情勢の変化等を踏まえ、環境行政に関する新たな課題へ取り組むため、これまでの施策、事業の評価、点検を行い、基本計画の見直しを行います。

このため、本調査を実施し、市民の皆様の環境に関する実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画に反映していきたいと考えております。

なお、回答にあたっては、氏名の記入は不要であり、また、回答結果については、計画見直しの資料としてのみ活用するため、個々の回答内容や個人情報が公表されることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和５年７月

渋川市長　　髙　木　　勉

＜ご記入にあたってのお願い＞

◆ご回答は、あてはまる答えの番号を〇で囲んでください。
◆回答する〇の数はそれぞれ異なります。（　）内のことわり書きに従ってご記入ください。
（　）がない場合、回答する〇の数は1つです。
◆ご記入いただいた意識調査票は、令和5年8月31日（木）までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いします。

＜問い合わせ先＞
渋川市　市民環境部　環境森林課　環境政策係　ＴＥＬ：0279-22-2114
ＦＡＸ：0279-24-6541

問1　貴事業所の名称をご記入ください。

問2　貴事業所の主たる所在地区を教えてください。（1つに〇）

１．渋川地区	２．伊香保地区	３．小野上地区
４．子持地区	５．赤城地区	６．北橘地区

問3　貴事業所の主たる業種を教えてください。（1つに〇）

１．農業、林業	２．漁業	３．鉱業、採石業、砂利採取業
４．建設業	５．製造業	６．電気・ｶﾞｽ・熱供給・水道業
７．情報通信業	８．運輸業、郵便業	９．卸売業、小売業
10．金融業、保険業	11．不動産業、物品賃貸業	12．学術研究、専門・技術ｻｰﾋﾞｽ業
13．宿泊業、飲食ｻｰﾋﾞｽ業	14．生活関連ｻｰﾋﾞｽ業、娯楽業	15．教育支援、学習支援業
16．医療、福祉	17．複合ｻｰﾋﾞｽ業	18．その他ｻｰﾋﾞｽ業務
19．その他（　　）		

問4　貴事業所の就業者数を教えてください。（1つに〇）
※合併前の居住年数（現市域内）も含めてください。

１．29 人以下	２．30～49 人	３．50～99 人
４．100～299 人	５．300 人以上	

問5　貴事業所の市内での営業年数を教えてください。（1つに〇）

1．2 年以下	2．3～9 年	3．10～19年	4．20 年以上

問6　貴事業所の該当について教えてください。（1つに〇）

1．第一種エネルギー管理指定	2．第二種エネルギー管理指定	3．該当しない

問7　貴事業所における環境対策の実施状況について、それぞれの項目で1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

		現状の評価				
		実施している	予定や計画がある	将来的に検討したい	実施の予定はない	事業内容に該当しない
公害防止関連	1.安全管理の徹底	1	2	3	4	5
	2.製品や製造過程における有害物質の削減	1	2	3	4	5
	3.大気汚染、悪臭の防止	1	2	3	4	5
	4.水質汚濁、土壌汚染の防止	1	2	3	4	5
	5.騒音・振動の防止	1	2	3	4	5
廃棄物関連	6.食品残渣の堆肥化	1	2	3	4	5
	7.再生紙、再生材等のﾘｻｲｸﾙ製品の導入	1	2	3	4	5
	8.包装の簡素化や通い箱の利用	1	2	3	4	5
	9.ごみの分別の徹底	1	2	3	4	5
	10.紙類、缶類、ﾋﾞﾝ類等の資源ごみの分別	1	2	3	4	5
省エネルギー新エネルギー関連	11.安全管理の徹底	1	2	3	4	5
	12.製品や製造過程における有害物質の削減	1	2	3	4	5
	13.大気汚染、悪臭の防止	1	2	3	4	5
	14.水質汚濁、土壌汚染の防止	1	2	3	4	5
	15.騒音・振動の防止	1	2	3	4	5
	16.食品残渣の堆肥化	1	2	3	4	5
	17.再生紙、再生材等のﾘｻｲｸﾙ製品の導入	1	2	3	4	5
	18.ｶｰﾎﾞﾝｵﾌｾｯﾄの導入	1	2	3	4	5
社内制度関連	19.包装の簡素化や通い箱の利用	1	2	3	4	5
	20.ごみの分別を徹底	1	2	3	4	5
	21.紙類、缶類、ﾋﾞﾝ類等の資源ごみの分別	1	2	3	4	5
	22.従業員に対する環境教育の実施	1	2	3	4	5
	23.事業活動に関わる環境情報の積極的な提供公開	1	2	3	4	5
	24.環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ(ISO、環境 GS、エコアクション 21 等)	1	2	3	4	5
その他に実施している対策があればご記入ください						

問8　これまでの、貴事業所における環境対策や環境分野での取組の成果について、それぞれの項目で1つだけ選んで番号に○をつけてください。

	現状の評価		
	明らかに成果があった	やや成果が感じられた	成果は感じられなかった
1. 事業所の社会的責任や、地域活動への貢献	1	2	3
2. 取引先や顧客、市場、消費者へに対するｲﾒｰｼﾞｱｯﾌﾟ	1	2	3
3. 社内における環境問題への意識・認識の向上	1	2	3
4. 廃棄物の削減	1	2	3
5. 再使用と再生利用による省資源化	1	2	3
6. ｴﾈﾙｷﾞｰ利用の効率向上、省ｴﾈ	1	2	3
7. 経費の削減、経営の合理化	1	2	3
その他に成果のあった取り組み			

問9　今後の環境に関する取組に関して、貴事業所の現在の状況（課題的なもの）として、該当するものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 事業内容から、当面は取組推進の必要性がない（関心がない等）
2. 必要な対策は済んでおり、新たに取り組めることがない
3. 人材が不足している
4. 環境に対する知識が不足している
5. 社内の合意が得られない
6. 市民や行政等との連携がとれない
7. 推進するための担当組織がない
8. 原材料、資材の確保に課題がある
9. 設備導入や運営の負担（費用、場所等）が大きい
10. 従業員の負担（労働時間、環境等）が大きい
11. 製造やサービスコスト、提供価格への影響が大きい
12. 取引先や顧客、消費者の理解が得られない
その他に課題があればご記入ください（　　）

問10　経済と環境対策という観点から、貴事業所の今後の事業展開において、関心の高いものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 太陽光や水素等、次世代ｴﾈﾙｷﾞｰへの転換
2. ﾓｰﾀﾞﾙｼﾌﾄ（低炭素な物流、交通ｼｽﾃﾑへの転換等）
3. 環境対策の新しい技術や製品の開発
4. 温室効果ｶﾞｽの排出権取引
5. 生物資源分野（ﾊﾞｲｵﾏｽ、遺伝子等）での事業機会
6. 農林漁業分野における新たな事業機会
7. 地域の環境を活用した観光等のｻｰﾋﾞｽの事業機会
8. 環境対策による効率、生産性の向上
9. 環境対策や環境ﾋﾞｼﾞﾈｽのｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ
その他に今後の事業展開に向けて関心の高い環境対策があればご記入ください。 （　　）

問11　市内での事業継続における地域との関わりについて、貴事業所の現在の状況として、該当するものをそれぞれの項目で1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

	現在の評価			
	取り組んでいる	今後に取り組みたい	今後も難しい	事業内容に該当しない
1. 地元に対しての商品やｻｰﾋﾞｽの提供	1	2	3	4
2. 地域住民の就労機会の創出	1	2	3	4
3. 緑地や水辺等の創出・保全	1	2	3	4
4. 環境活動の情報提供・PR	1	2	3	4
5. 自社の技術や知識を活かした地域支援活動	1	2	3	4
6. 従業員によるﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	1	2	3	4
7. 地域住民との懇談会、環境啓発ｲﾍﾞﾝﾄ等の開催	1	2	3	4
8. 環境講座や講演会等、学習の機会や場の提供	1	2	3	4
9. 環境保全活動の支援、ﾈｯﾄﾜｰｸづくり	1	2	3	4
10. 地域防災活動、災害対応の協力	1	2	3	4

問12　貴事業所は、住民や行政と協力しながら周辺の環境を保全、または改善していく上で、今後何が重要だと考えますか。該当するものをそれぞれの項目で1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

	現在の評価		
	重要	どちらかといえば重要	重要ではない
1. 環境に関する法律や条令等の遵守	1	2	3
2. 自然環境保全のための森林保護・育成	1	2	3
3. 大気汚染（自動車使用の抑制を含む）、水質汚濁、悪臭、騒音、振動等の公害対策	1	2	3
4. 環境保全に関する監視等の体制の整備	1	2	3
5. 事業所から出る一般廃棄物や産業廃棄物の処理対策の強化	1	2	3
6. 環境保護のための地域づくりや団体との連携	1	2	3
7. 環境保全に関する教育や意識の啓発、情報の提供	1	2	3

渋川市の環境全般に対して、ご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

内容をご確認のうえ、令和5年8月31日（木）までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

なお、渋川市環境森林課環境政策係でも直接受け付けております。

第２次渋川市環境基本計画見直しのための中学生アンケート

ご協力のお願い

日ごろから市政への、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

渋川市では、平成３１年に「豊かな自然と多様な風土をみんなで守り育て継承するまち・しぶかわ」を環境像とした「第２次渋川市環境基本計画」を策定しました。

計画の策定から４年が経過し、社会情勢の変化等を踏まえ、環境行政に関する新たな課題へ取り組むため、これまでの施策、事業の評価、点検を行い、基本計画の見直しを行います。

このため、このアンケートを実施実施し、未来の渋川市を担う中学生のみなさんの環境に関する考えや、取組状況をお聞きし、計画に反映していきたいと考えております。

なお、回答にあたっては、氏名の記入は不要であり、また、回答結果については、計画見直しの資料としてのみ活用するため、個々の回答内容や個人情報が公表されることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和５年７月

渋川市長　　髙　木　　勉

＜ご記入にあたってのお願い＞

◆ご回答は、あてはまる答えの番号を〇で囲んでください。
◆回答する〇の数はそれぞれ異なります。（　）内のことわり書きに従ってご記入ください。
（　）がない場合、回答する〇の数は1つです。
◆ご記入いただいた意識調査票は、担任の先生に提出してください。

＜問い合わせ先＞
渋川市　市民環境部　環境森林課　環境政策係　ＴＥＬ：0279-22-2114
ＦＡＸ：0279-24-6541

用語解説

1　里地里山
人が集まって住んでいる所と、その周辺にある農地・ため池・管理されている山や森林等からなる地域。

2　グリーンカーテン
植物を建築物の外側に生育させることにより、 建築物の温度上昇抑制を図る省エネルギー手法。

3　グリーンマーク商品
古紙を原則として40％以上原料としている商品等。

4　エコマーク商品

環境に負荷が少なく、あるいは、環境改善に役立つ環境にやさしい商品。

5　資源ごみ
再資源化が可能なごみ。 主に古紙類、缶、ビンなどを各地区で集団回収するもの。

6　リサイクルごみ
再資源として利用(リサイクル）できるごみ。 渋川市ではペットボトルとガラスビンを月2回集積所で回収するもの。

7　フードロス
本来食べられるのに捨てられる食品。

Ⅰ　最初にあなたご自身についておたずねします。

問1　あなたご自身について教えてください。（1つに○）

1．男性	2．女性	3．その他・答えたくない

Ⅱ　住んでいる地域の環境についておたずねします。

問2　あなたは、今住んでいる地域の環境にどのくらい満足していますか。それぞれの項目で1つだけ選んで、番号に○をつけてください。
また、未来へ引き継ぎたいと良いと思う事項について3つまで選んで○を記入してください。

	現状の評価				引き継いだ方よい事項
	満足	やや満足	やや不満	不満	
1. 空気のきれいさ	1	2	3	4	
2. 飲み水のおいしさ	1	2	3	4	
3. 利根川、赤城山、子持山等の自然の景色	1	2	3	4	
4. 公園などの身近な自然	1	2	3	4	
5. 身近な川・山・里地里山で動植物（魚・あじさい・ホタル等）とのふれあい	1	2	3	4	
6. 道路・歩道が整備され安全で快適な街	1	2	3	4	
7. 騒音や振動が気にならない住みよい街	1	2	3	4	
8. ごみが放置されていない清潔な街	1	2	3	4	

Ⅲ　ごみ問題についておたずねします。

問3　あなたは生活の中で、ごみを減らすためにどのように過ごすことが重要だと思いますか。それぞれの項目で1つだけ選んで番号に○をつけてください。

	現状の評価			
	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない
1. 余計なものを買わない	1	2	3	4
2. 物は修理しながら長く使う	1	2	3	4
3. 古新聞・雑誌・缶などは資源ごみに出す	1	2	3	4
4. ﾘｻｲｸﾙごみ（ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ・ﾋﾞﾝ等）は洗って分別する	1	2	3	4
5. 買い物の時はﾏｲﾊﾞｯｸﾞを使う	1	2	3	4

Ⅳ　環境問題についておたずねします。

問4　あなたは生活の中で、環境を守るためにどのように過ごすことが重要だと思いますか。それぞれの項目で1つだけ選んで番号に○をつけてください。

	現状の評価			
	重要である	どちらかといえば重要である	あまり重要でない	重要でない
1. 節電をする（使っていない部屋の電気は消す、テレビをつけっぱなしにしない等。）	1	2	3	4
2. 節水をする（歯みがき、洗顔やシャワー時に水を出しっぱなしにしない等。）	1	2	3	4
3. 衣類で体温を調整する（夏はうすい布の服、冬は重ね着をする等。）	1	2	3	4
4. 夏は部屋に直射日光は入らないようにする（ｸﾞﾘｰﾝｶｰﾃﾝの設置、部屋のｶｰﾃﾝを閉める等。）	1	2	3	4
5. 環境にやさしい商品を買う（ｸﾞﾘｰﾝﾏｰｸ商品、ｴｺﾏｰｸ商品等。）	1	2	3	4
6. ﾌｰﾄﾞﾛｽをなくすように取り組む（食品などの廃棄をなくす等。）	1	2	3	4
7. ごみを減らす努力をする（買い物時にマイバッグを使用する等。）	1	2	3	4

身近な環境について、あなたが日頃思っていることがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入していただいたアンケート用紙は、担任の先生に提出してください。

用語解説

英数	
ISO	製品やサービスの国際標準。環境マネジメントの規格は ISO14000 シリーズ。
PM2.5	微小粒子状物質。長期間浮遊している、ばいじん、粉じんなどの微粒子のうち、粒径が 2.5μm以下のもの。
mottECO	2022年度から環境省が中心となり、飲食店での食べ残しの持ち帰り行為を「mottECO（モッテコ）」という名称で推進している。「mottECO」は「もっとエコ」、「持って帰ろう」というメッセージが込められている。
NPO	Nonprofit Organization の略。民間非営利組織のことで、行政や企業では扱いにくい社会的なサービス、活動を自発的に行う。狭義では、特定非営利活動促進法に基づく特定非営利活動法人（NPO 法人）を指す。
ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）	通称ゼッチ。外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システム、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなる住宅のこと。
3010 運動（さんまるいちまる運動）	国が推進する、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、乾杯後 30 分間は席を立たずに料理を楽しみましょう、お開き 10 分前になったら自分の席に戻って再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、食品ロスを削減するもの。
ア行	
安全が確保される社会	人の健康や生態系に対するリスクが十分に低減され、安全が確保される社会のこと。
インフラ	インフラストラクチャーの略。道路や鉄道、水やエネルギーの供給、通信、教育や医療福祉の施設など、経済や生活の基盤となる公共的施設のこと。
エコアクション 21	国が、主に中小の事業者を対象に提供する環境マネジメントの制度。
エコ改修	建物のエネルギー効率を高めるため、二重窓化や壁の断熱工事などを行う改修のこと。
エコドライブ	環境にやさしい自動車の運転方法のこと。「駐停車時のアイドリングストップ」「高速道路などにおける適正速度での走行」「タイヤの空気圧の適正化」など 10 の項目が示されている。
エコ・リーダーズセミナー	エコ・リーダーは、市民環境大学で学んだことを活かし、地域における環境保全の先導役となる市民。エコ・リーダーズセミナーは、エコ・リーダーとしての活動が更に充実したものとなることを期待して市が開催するステップアップ講座である。
エネルギーの面的利用	エネルギーの効率的利用を、個々の施設ごとではなく、複数の施設が協力して行うこと。
温室効果ガス	温室効果とは大気が熱を保つ働きで、その原因となる気体のこと。
カ行	
外来種	国外又は国内の他地域から、野生生物の本来の移動能力を越えて、人為によって意図的・非意図的に導入された生物。地域固有の生物相や生態系に影響を与え、生物多様性を脅かすものがある。
化石燃料	過去の植物や動物の遺骸が地中で変化して生成した燃料。石炭、石油、天然ガスなど。
環境基準	国が定める「大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音にかかる環境上の条件について、それぞれ、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」
環境 GS	環境ぐんま・スタンダード。群馬県が、県内事業者向けに提供する環境マネジメントの制度。

環境市民	環境に対する意識が高く、環境の保全向上の取組を実践する市民のこと。
環境マネジメント	組織が環境に関する方針や目標を自ら設定し.検証しながら計画的に取り組んでいくこと。
協働	異なる複数の主体が地域の課題等を解決するため目標を共有し、力を合わせて役割分担しながら取り組むこと。
空間放射線量	空間を飛び交う放射線の量。一般的には 1 時間あたりに換算した空間放射線量率を測定する。
クールシェア（COOLSHARE）	複数のエアコン使用をやめ、なるべく 1 部屋に集まる工夫をしたり、公園や図書館などの公共施設を利用することで涼を分かちあう（シェアする）こと
クールチョイス（COOLCHOICE）	国がパリ協定の目標達成に向けて推進する、地球温暖化対策の国民運動のことで、低炭素型の製品、サービス、行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す内容。
減農薬・減化学肥料	土壌や健康等への影響に配慮して、農薬や化学肥料の使用を最低限にとどめて行う農法の通称。
光化学オキシダント	オゾン等の強酸化性物質の総称で、光化学スモッグの原因物質、工場や自動車の排気ガスなどに含まれる窒素酸化物や炭化水素が紫外線の影響で光化学反応をおこし、生成する。
サ行	
里山	集落、人里に隣接し、人間の影響を受けた生態系が存在する山をいう。
酸性雨	大気汚染物質が雨に溶け込み、通常より強い酸性（pH5.6 以下）を示す現象のこと。
次世代モビリティ	自動運転技術や通信技術、人工知能などを活用した新たな移動手段のこと。
自然共生社会	自然の保護又は整備を通じて社会経済活動と自然環境を調和させることを自然共生といい、それが実現する社会のこと。
自然的土地利用	土地を山林や農地として利用すること。
持続可能な発展･開発	現代の世代が、将来の世代の利益や要求を充足する能力を損なわない範囲内で環境を利用し、現在の世代の要求を満たしていこうとすること。
持続可能な開発目（SDGs）	SDGs: Sustainable Development Goals の略。「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2016 年から 2030 年までの国際社会共通の目標 17 項目。うち、12 項目が環境に関連している。
持続可能な開発のための 2030 アジェンダ	2015 年 9 月国連総会で採択された先進国を含む全ての国に適用される開発目標のこと。貧困の撲滅と持続可能な発展・開発の実現を目指す。
持続可能な社会	安全が確保されることを前提として、低炭素、循環、自然共生の各分野が、各主体の参加の下で、統合的に達成され、健全で恵み豊かな環境が地球規模から身近な地域にわたって保全される社会のこと。
渋川市公共施設等総合管理計画	公共施設等の総合的かつ計画的な管理をするための計画。平成 27 年 3 月に「渋川市公共施設等総合管理計画」を策定。
渋川市地球温暖化対策実行計画	渋川市の行政機関における温室効果ガス排出削減を進めるための計画。平成 30 年 3 月に「渋川市地球温暖化対策実行計画(2018-2022)」を策定。
循環型社会	廃棄物等排出の抑制、排出された廃棄物等の資源としての利用、利用できないものの適正処分により実現される、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会のこと。
食品ロス	本来食べられるにもかかわらず、食べ残し、売れ残り、期限切れなどで、捨てられてしまう食べ物のこと。

水素	非金属元素で元素記号はH。宇宙で最も豊富に存在する。燃やしても水（H2O）のほかに排出物を出さないことから、化石燃料等の代替エネルギーとして期待されている。
水源涵養	森林などの土壌から地下に徐々に水が浸透し、水を蓄え、水源を形成し、地下水や河川を育む働き。
生態系	植物、動物、微生物とそれらを取り巻く大気、水、土などの無機的な環境を総合した系、システムを意味する。
生物化学的酸素要求量（BOD）	微生物によって有機物を分解するときに消費される酸素の量を意味し、河川の有機汚濁を測る代表的な指標のこと。一般的に値が大きいと汚濁が進んでいることを示す。
生物多様性	人間だけでなく、動物、植物、昆虫など様々な生き物がお互いにつながり合って生きること。「生態系の多様性」「生物種の多様性」「遺伝子の多様性」の3つの多様性から成り立っている。
生物多様性戦略	生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画（生物多様性地域戦略）のこと。
扇状地	山地から川へ流出した土砂土石が、平地に向けて扇型に堆積してできた地形のこと。
タ行	
第一次産業	国勢調査等で用いる産業の分類で、農業、林業、漁業等が該当する。
第二次産業	国勢調査等で用いる産業の分類で、建設業、製造業等が該当する。
第三次産業	国勢調査等で用いる産業の分類で、各種商業・サービス業、医療等が該当する。
太陽光	太陽から放出される光のことで、目に見える可視光線のほか、γ線、X線、紫外線、赤外線が含まれる。
太陽熱	太陽光によって発する熱のこと。
第四紀・洪積世	第四紀は約200万年前から現在までを含む時代で、その前半の世。人類出現の時期である。
段丘	河岸に沿って平坦面と急崖が階段状に配列している地形のこと。
段丘斜面	段丘の縁辺の斜面。
地域環境資源	自然資源のほか、特定の地域に存在する特徴的なものを資源として活用可能な物と捉え、人的・人文的な資源をも含む広義の総称のこと。
地球温暖化・気候変動	地球の平均気温が上昇し、気候システムが変化すること。
地方公共団体実行計画（事務事業編）	全ての都道府県及び市町村のほか、特別区、一部事務組合及び広域連合も策定が義務づけられている。計画の内容は、公共施設等での省エネや創エネ等を進めて、地球温暖化を防止する計画のこと
地方公共団体実行計画（区域施策編）	地域住民や事業者が主となる取組を定めたもの。地域の自然的社会的特性を踏まえた取組によって、新たな事業や産業の創出などの地域づくりの推進にもつながる、低炭素なまちづくりの核となる計画のこと。
低炭素社会	現状の産業構造やライフスタイルを変えることで、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量を低減した社会のこと。
てまえどり	購入してすぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品や販売期限の迫った商品を積極的に選択する購買行動のこと。
デマンド交通	利用者が交通業者に電話などで乗車を要請（デマンド）することで利用する交通手段。複数人の乗り合いで目的地まで送迎を行う。

典型7公害	環境基本法（旧来は公害対策基本法）に定められた 7 種（大気、水質、騒音、振動、土壌、悪臭、地盤沈下）の公害のこと。
電力利用のスマート化	家庭や事業所等電力を使う側と、発電・送電等の供給する側を、インターネット等の情報通信技術でつなぐことにより、全体的なきめ細かいコントロールを行うもの。
特定空家等	渋川市空家等及び空地の適正管理に関する条例第 2 条第 1 項において、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等をいう。
ナ行	
燃料電池	水素と酸素の化学反応から生じるエネルギーにより電気と熱を発生させる装置のこと。
ハ行	
バイオマス	生物資源（bio）の量（mass）を表す概念で、一般には「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」。廃棄物系バイオマス、未利用バイオマス、資源作物の3つからなる。
パークアンドライド	自宅から自家用車で最寄り駅またはバス停まで行き、自家用車を駐車させた後、公共交通機関を利用して目的地に向かうこと。
パリ協定	第 21 回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において 2015 年 12 月に採択された地球温暖化・気候変動に関する国際的な枠組み。世界全体としての実施状況の検討を 5 年ごとに行う。
ヒメギフチョウ	昆虫のチョウの一種。ギフチョウとともに自然保護の象徴とされ、国内の保護活動が盛んである。原生林ではなく、人が入り管理する里山が生息環境である。
フードドライブ	家庭で食べきれない食品を学校や職場に持ち寄ったり、行事やイベントに合わせて地域の余っている食品を集め、それらをまとめて地域の福祉施設や団体、フードバンク等に寄附する活動のこと。
フードバンク	製造工程で発生する規格外品や賞味期限間近など、品質には問題ないが通常の販売が困難な食品・食材や、個人・団体等からの食品の寄贈を受け入れ、支援を必要とする人等へ提供する活動のこと。
プラスチック製容器包装	容器包装リサイクル法の対象となる、生鮮食品のトレイ、カップやパック類、ボトル類、ポリ袋・フィルム類などプラスチック素材でできた容器や包装のこと。
分水嶺	異なる水系（河川の系統）の境界線となっている山稜（山の峰の連なり）のこと。三国山脈を挟んで太平洋側と日本海側に分かれる。
放射性物質	放射線を発する物質のこと。放射線にはアルファ線（α線）、ベータ線（β線）、ガンマ線（γ線）等がある。

施策の指標

基本方針1【生活環境】
安全で安心して生活し続けられるまち

No	指標名	現状値 令和4年度	目標値 令和10年度	備考	主管所属
基本目標 1-1　生活環境を守る					
1-1-1　大気汚染のない空気のきれいなまち					
1	雨水pH値	5.8	6.0	Σ（1降雨ごとの水素イオン濃度×降水量）/全降水量をpHに変換	環境森林課
1-1-2　水質汚濁のない気持ちよく訪れることができる水辺					
2	環境基準達成率 〈市街地河川(C類型BOD値)〉	97.5%	98.0%	C類型BOD値5mg／ℓ以下の河川数／測定河川数	環境森林課
3	ホタル生息地	14か所	15か所	市内ホタル生息地箇所	環境森林課
4	汚水処理率	77.4%	84.6%	利用人口／住民基本台帳人口×100	業務課
1-1-3　土壌・地下水汚染のない安全なまち					
5	土砂条例に係るパトロール回数	29回	24回	土砂条例に係る年間のパトロール回数	環境森林課
1-1-4　騒音や振動が防止された安心できる近隣環境					
6	規制基準達成率 〈特定事業場騒音〉	58.8%	70.0%	環境基準適合数／測定地点数	環境森林課
7	環境基準達成率 〈自動車騒音（市内全域）〉	97.6%	98.0%	自動車騒音常時監視 環境基準適合戸数/対象住居戸数（市内全域を5年かけて調査）	環境森林課

基本方針2【自然環境】
緑と水がおりなす多様な自然・生物と共生するまち

No	指標名	現状値 令和4年度	目標値 令和10年度	備考	主管所属
基本目標 2-1　雄大な自然環境を守る					
2-1-2　里山環境が保全され、多様な生態系とともにあるまち					
8	森林整備実施面積	4.83ha	40.0ha	森林整備実施の面積	環境森林課
9	間伐面積	129ha	110.0ha	間伐面積 （県集計によるもの）	環境森林課
10	竹林整備面積	1.86ha	7.5ha	竹林整備面積	環境森林課
11	農地保全に係る活動団体数	11団体	15団体	農地保全に係る活動団体の数	農政課
12	遊休農地面積	224.5ha	4.0ha 2027 年度目標値	平成28年10月「渋川市農業委員会農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を参考に推計	農業委員会事務局
基本目標 2-2　生物多様性を守る					
2-2-1　重要種の保護、有害種や特定外来生物への対応が進み、野生生物と共存するまち					
13	ヒメギフチョウ産卵数	2,196個	2,500個	ヒメギフチョウ産卵数	文化財保護課

基本方針3【快適環境】
地域の歴史や文化を再発見し、身近な自然環境を生かした景観をつくるまち

No	指標名	現状値 令和4年度	目標値 令和10年度	備考	主管所属
基本目標 3-1　歴史と文化をつなぐ					
3-1-1　歴史的環境の保全と活用が進んだ魅力あるまち					
14	国指定文化財件数 県指定文化財件数 市指定文化財件数	13件 40件 128件	15件 42件 133件	指定文化財数件数 国・県指定文化財は、国及び県の判断による。ただし、金井東裏遺跡については、上信道金井バイパスの供用開始に併せて県指定とする整理を県が進めているため、H35年度に1件増とした。また、市指定文化財を県指定とする物件があった場合は県と協議を進めていく。	文化財保護課
3-1-2　文化的活動の進んだ魅力あるまち					
15	市民総合文化祭参加者数割合	8.0%	12.0%	人口に占める市民総合文化祭参加者数の割合 参加者数（発表者＋入場者）／住民基本台帳人口×100	生涯学習課
16	公民館学習参加者数	21,735人	57,300人	各種事業の参加者数	公民館
基本目標 3-2　良好な景観を守る					
3-2-1　緑に親しめる環境の形成が進み、うるおい豊かなまち					
17	緑化苗木配布数	26,651本	41,000本	緑化苗木の配布数	都市政策課

基本方針4【循環型社会】
廃棄物を減らし、資源を循環利用するまち

No	指標名	現状値 令和4年度	目標値 令和10年度	備考	主管所属
基本目標 4-1　資源を有効に活用する					
4-1-1　3Rが進み、ごみが少ないまち					
18	家庭系ごみの1人1日当たりの排出量	654g	617g	1日当たりの家庭系ごみの排出の総量/人口(リサイクルごみ、資源ごみの排出量は除く)	環境森林課
19	ペットボトルの収集量	150t	131t	年間のペットボトルの収集量	環境森林課
20	資源ごみ回収量	1,898t	1,593t	年間の資源ごみ回収量	環境森林課
21	小型家電回収量	3,645kg	6,700kg	年間の小型家電の回収量	環境森林課
4-1-3　不法投棄防止や環境美化が進み、安心できるまち					
22	特定空家等解決件数率	57.8%	55.0%	特定空家、特定空家になると思われる空家に対する解決件数の割合	市民協働推進課
23	空家活用件数	8件	25件	空家活用支援事業補助金申請件数の累計	建築住宅課
4-1-4　食品などの廃棄、フードロスをなくす取組を推進するまち					
24	フードドライブ実施回数（累計）	3 回	12 回	フードドライブの実施回数の累計	環境森林課
25	しぶかわフードラブ協力店登録店舗数	51 店舗	68 店舗	しぶかわフードラブの登録店舗数	環境森林課

基本方針5【地球環境】
持続可能な低炭素化を進めるまち

No	指標名	現状値 令和4年度	目標値 令和10年度	備考	主管所属
基本目標 5-1　地球温暖化防止活動を推進する					
5-1-1　気候変動対策を推進し快適に暮らせるまち					
26	電気自動車用急速充電器利用回数	2,553回	3,100回	市内2か所設置の電気自動車用急速充電器の利用回数	環境森林課
5-1-2　気候変動に適応した安全に暮らせるまち					
27	防災資機材整備補助団体数	15団体	14団体	防災資機材の整備補助をする団体数	危機管理室
28	自主防災組織の防災訓練、防災講話等への職員派遣済団体数	50団体	105団体	自主防災組織の防災訓練、防災講話等への職員派遣済団体数	危機管理室
29	クールシェアスポット数	0か所	30か所	市内のぐんまクールシェア登録施設数	環境森林課
5-1-3　地球温暖化対策を進める市役所					
30	温室効果ガス排出量削減数値（市役所）	12,006,190kg-CO_2 （2022年度基準）	10,168,000kg-CO_2 （2027年度）	温室効果ガス排出量の削減数値	環境森林課
基本目標 5-2　エネルギーを有効に活用する					
5-2-1　エネルギー効率のよいライフスタイル					
31	エコリフォーム件数	―	937件	住宅の省エネ化に資するリフォーム促進事業補助金申請件数の累計	建築住宅課
5-2-2　自然エネルギーを利用するクリーンなまち					
32	住宅用スマートエネルギー機器設置件数	98件	800件	住宅用リチウムイオン蓄電池及び HEMS 補助金申請件数の累計	環境森林課
5-2-3　都市インフラと公共交通の省エネルギーが進んだまち					
33	乗合バス利用者数	149,455人	150,000人	市町村乗合バス輸送実績報告書による数値	交通政策課
34	JR乗車人員（渋川駅、八木原駅）	1,315,095人	1,624,250人	東日本旅客鉄道(株)によるデータ （渋川駅及び八木原駅年間乗車人員数合計）	交通政策課

基本方針6【学習・参加】
地域協働による環境づくりをするまち

No	指標名	現状値 令和4年度	目標値 令和10年度	備考	主管所属
基本目標 6-1　環境学習、環境情報の共有を推進する					
6-1-1　環境学習が進み、環境についての理解と実践が広がるまち					
35	環境学習会参加者数	10人	60人	親と子の環境学習会の参加者数	環境森林課
36	エコ・リーダーズセミナー参加者数	31人	50人	エコ・リーダーズセミナー参加者数	環境森林課
37	環境まつりにおける牛乳パックの回収量	2,660kg	5,000kg	環境まつりにおける牛乳パックの回収量	環境森林課
基本目標 6-2　参加、協働を推進する					
6-2-1　市民参加と協働が進み、市民・事業者・市がともに環境を創るまち					
38	環境NPO法人登録団体数	14団体	17団体	しぶかわNPO・ボランティア支援センター利用登録のうち環境NPO法人数	市民協働推進課

第２次渋川市環境基本計画改訂

（令和〇年〇月発行）

発行　　渋川市

編集　　市民環境部　環境森林課

〒３７７―８５０１　群馬県渋川市石原８０番地

電話　０２７９―２２―２１１１

ＵＲＬ　http://www.city.shibukawa.lg.jp